

江戸川区内中小企業の景況について

2024(令和6)年1月～3月期



行船公園（平成庭園・源心庵）



江戸川区産業経済部経営支援課調査計画係

調査実施機関 一般社団法人東京都信用金庫協会

分析・作成 株式会社サーベイリサーチセンター

目 次

江戸川区内の中小企業の景況（2024年1月～3月期）	1
（各業種別の実績と来期の見込み）	
・ 製造業	2
・ 卸売業	7
・ 小売業	10
・ サービス業	14
・ 建設業	17
・ 不動産業	20
江戸川区独自の調査から	23
江戸川区と東京都全体の企業倒産動向	24
特別調査「中小企業における人材戦略について」	25
東京都全体の中小企業の景況（2024年1月～3月期）	31
江戸川区と東京都全体の比較表	32
江戸川区の業種別転記表	35

調査の概要

1. 調査時期 2024年3月上旬（四半期毎実施）
2. 調査方法 面接聴取（東京都信用金庫協会の会員信用金庫による）
3. 調査の対象と回答状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製 造 業	155	147
卸 売 業	24	19
小 売 業	65	61
サ ー ビ ス 業	54	47
建 設 業	48	43
不 動 産 業	22	21
合 計	368	338

4. 未集計事業所の内訳

	倒産・廃業	取引解消	事業転換	移 転	調査拒否	休 業	不在が続く	その他	合 計
6 業 種 計	2	0	0	0	0	0	28	0	30
製 造 業	-	-	-	-	-	-	8	-	8
卸 売 業	-	-	-	-	-	-	5	-	5
小 売 業	1	-	-	-	-	-	3	-	4
サ ー ビ ス 業	1	-	-	-	-	-	6	-	7
建 設 業	-	-	-	-	-	-	5	-	5
不 動 産 業	-	-	-	-	-	-	1	-	1

※ D. I.(Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

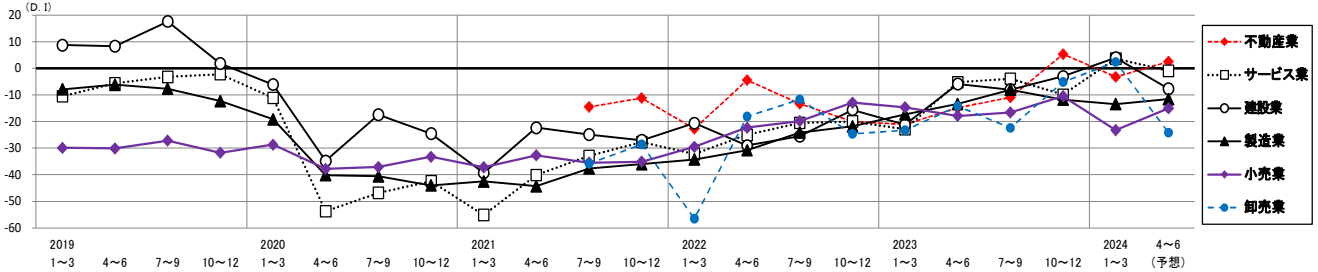
江戸川区内の中小企業の景況（2024年1月～3月期）

（一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ）

業況判断DIは前期並（-9.0）の-8.9で推移した。

～サービス業で14ポイント、卸売業と建設業で7～8ポイントと大幅に持ち直したが、
小売業で13ポイント、不動産業で9ポイント悪化が強まった。～

江戸川区内中小企業の景況・6業種推移(D.I. ※)



業況判断DI（季節調整済、「良い」企業割合－「悪い」企業割合）は前期並（-9.0）の-8.9で推移した。業種別にみると、サービス業で14ポイント、卸売業と建設業で7～8ポイントと大幅に持ち直したが、小売業で13ポイント、不動産業で9ポイント悪化が強まった。

来期は、不動産業でプラスに転じ、小売業で大きく持ち直すものの、卸売業で24ポイント、建設業で12ポイントと大きく悪化が強まることから、6業種全体でも1.3ポイント悪化が強まると予想している。

	前期	今期	対前期	来期予想	対今期
製 造 業	-11.7	-13.5	-1.8	-11.6	1.9
卸 売 業	-5.1	2.4	7.5	-24.2	-26.6
小 売 業	-10.5	-23.2	-12.7	-15.0	8.2
サ ー ビ ス 業	-9.9	3.6	13.5	-0.9	-4.5
建 設 業	-3.0	4.0	7.0	-7.7	-11.7
不 動 産 業	5.3	-3.2	-8.5	2.5	5.7
総 合	-9.0	-8.9	0.1	-10.2	-1.3

※前期（2023年10～12月） 来期（2024年4月～6月）

<製造業>

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額と受注残も減少傾向を多少強め、収益も減益幅がかなり拡大した。価格面では、販売価格は前期同様の上昇水準で推移し、原材料価格も前期並の厳しい上昇傾向が続いた。原材料在庫数量は引き続き適正範囲に保たれた。

来期の業況は今期同様の悪化水準で推移すると予想している。受注残は減少幅が若干縮小し、売上額と収益も減少・減益傾向が大幅に改善されると見込んでいる。

<卸売業>

業況は大きく持ち直してわずかにプラスに転じた。売上額は減少が大幅に強まったが、収益は減益傾向が続くものの極端に改善された。価格面では、販売価格は前期同様の上昇水準が続き、仕入価格は上昇傾向が大幅に弱まった。

来期の業況は極端に下降し水面下に落ち込むと予想している。売上額と収益も減少・減益傾向を大幅に強めると見ている。

<小売業>

業況は悪化傾向が大きく強まった。売上額は減少幅が大きく拡大し、収益は減益傾向がさらに強まった。価格面では、販売価格は上昇幅がわずかに拡大し、仕入価格は上昇傾向が若干弱まった。

来期の業況は水面下ながら大きく持ち直すとは予想している。売上額と収益は減少・減益傾向が大幅に改善すると予想している。

<サービス業>

業況は大幅に持ち直して好調に転じた。売上額は堅調に推移し、収益は大幅に改善し増勢に転じた。価格面では、料金価格は上昇傾向をさらに強めた。材料価格は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は後退しわずかに水面下に落ち込むと見ている。売上額は増勢が一服し、収益は大幅に後退し再び減少に転じると予想している。

<建設業>

業況はコロナ禍前の2019年以来5年ぶりにプラスに転じた。売上額と収益は減少・減益傾向が大幅に改善し、受注残も減少が弱まった。施工高は大きく持ち直して増勢に転じた。価格面では、請負価格は前期同様の上昇水準で推移し、材料価格は上昇が幾分弱まったものの引き続き厳しい状況が続いた。

来期の業況は大きく後退して再び悪化に転じると見ている。売上額は減少が一服し、受注残は大幅に改善しプラスに転じるが、施工高は増加傾向が若干後退し、収益は悪化幅がかなり拡大すると予想している。

<不動産業>

業況は大きく後退し再び水面下に落ち込んだ。売上額と収益も後退し再び減少・減益に転じた。価格面では、販売価格は前期並の上昇幅で推移し、仕入価格は上昇傾向が若干強まった。

来期の業況は持ち直して再びプラスに転じると見ている。売上額は今期並の水準で推移し、収益も減少・減益傾向が一服すると予想している。

製 造 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、収益

業況（△8.0→△11.7→△13.5）は前期並の悪化幅で推移した。

売上額（△2.5→△8.6→△12.0）と受注残（△4.0→△12.0→△15.2）も減少傾向を多少強め、収益（△12.3→△9.3→△17.2）も減益幅がかなり拡大した。

来期の見通しについて、業況（△11.6予想）は今期同様の悪化水準で推移すると予想している。受注残（△10.0予想）は減少幅が若干縮小し、売上額（△4.8予想）と収益（△12.8予想）も減少・減益傾向が大幅に改善されると見込んでいる。

（２）販売価格、原材料価格、原材料在庫数量

販売価格（10.0→4.0→4.9）は前期同様の上昇水準で推移し、原材料価格（34.5→31.9→30.2）も前期並の厳しい上昇傾向が続いた。原材料在庫数量（△3.2→1.6→0.0）は引き続き適正範囲に保たれた。

来期の見通しについて、販売価格（3.0予想）は今期同様の水準で推移すると見ている。原材料価格（26.3予想）は厳しさが多少和らぎ、原材料在庫数量（△0.8予想）は継続して適正範囲を維持すると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△8.2→△11.8→△9.0）は窮屈感が幾分緩和したが、借入難易度（△8.6→△7.5→△7.9）は前期同様の厳しさが続いた。

設備投資を「実施した」企業（14.2%→12.0%→13.2%）は前期から1.2ポイント増加した。

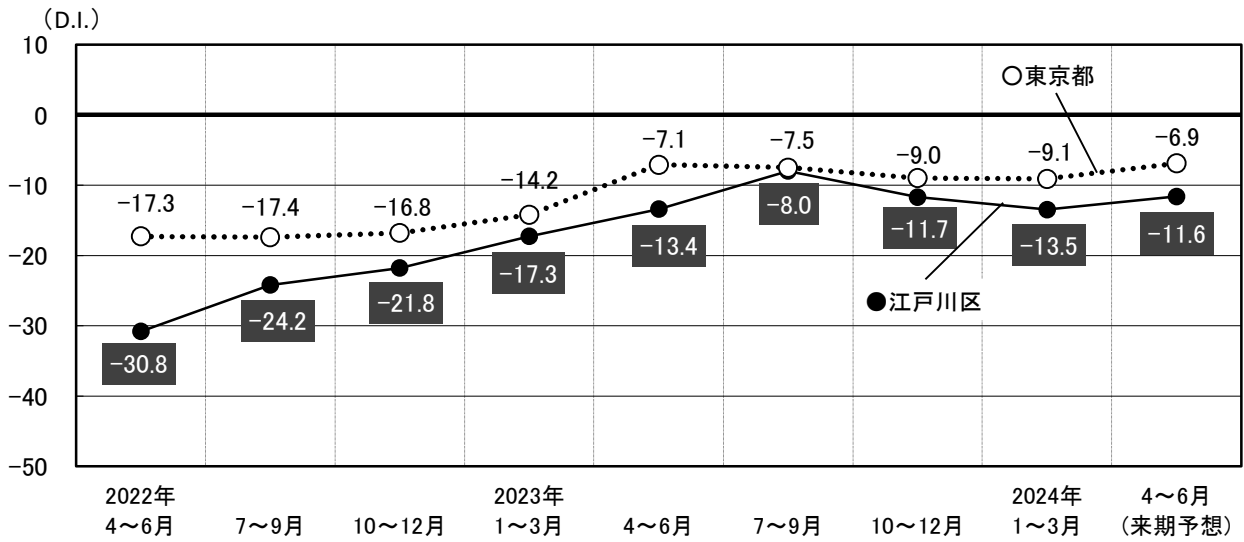
来期の見通しについて、資金繰り（△7.5予想）は今期並の窮屈感で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

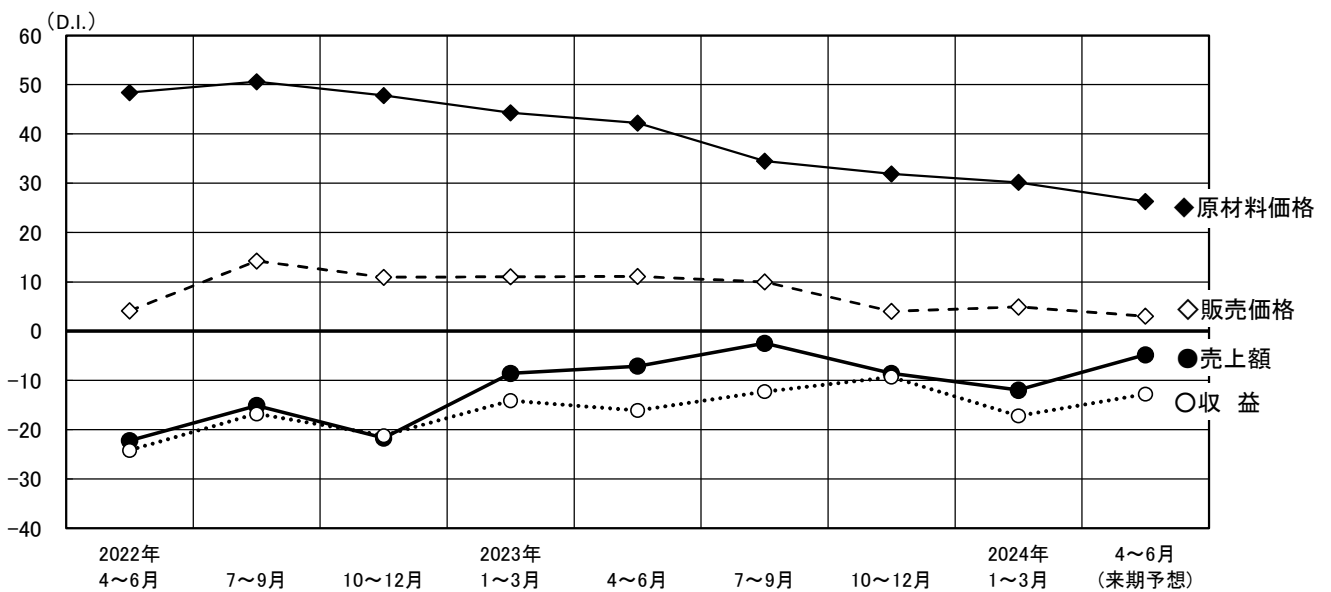
経営上の問題点は、「原材料高」（38.1%）が今期は最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（34.7%）、「利幅の縮小」（19.0%）、「人手不足」（16.3%）、「同業者間の競争の激化」（15.0%）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（51.0%）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」（36.7%）、「人材を確保する」（17.7%）、「情報力を強化する」（10.9%）、「新製品・技術を開発する」（8.8%）の順であった。

【製造業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

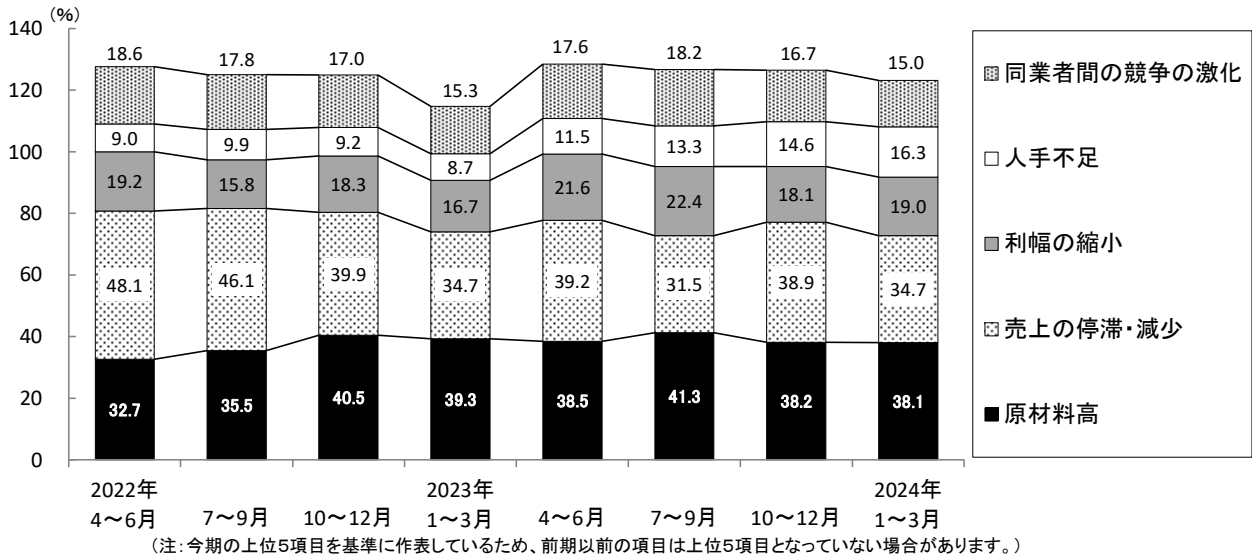


【製造業】 売上額・収益・販売価格・原材料価格の推移



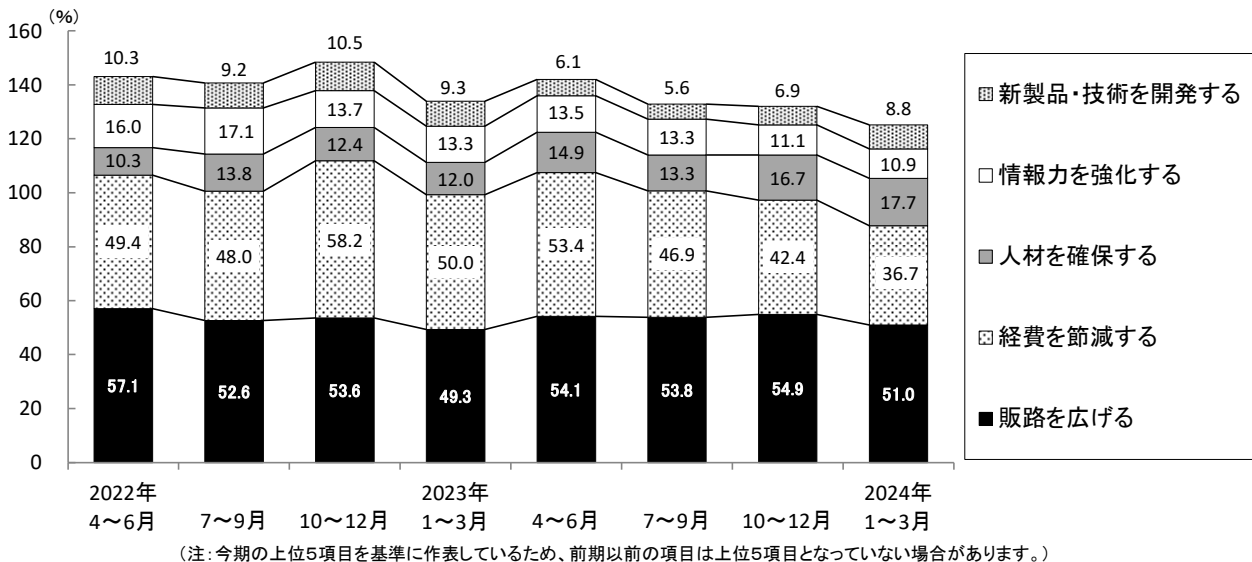
【製造業】 経営上の問題点 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
売上の停滞・減少	39.2%	原材料高	41.3%	売上の停滞・減少	38.9%	原材料高	38.1%
原材料高	38.5%	売上の停滞・減少	31.5%	原材料高	38.2%	売上の停滞・減少	34.7%
利幅の縮小	21.6%	利幅の縮小	22.4%	利幅の縮小	18.1%	利幅の縮小	19.0%
同業者間の競争の激化	17.6%	同業者間の競争の激化	18.2%	同業者間の競争の激化	16.7%	人手不足	16.3%
仕入先からの値上げ要請	12.8%	人手不足	13.3%	人手不足	14.6%	同業者間の競争の激化	15.0%



【製造業】 重点経営施策 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
販路を広げる	54.1%	販路を広げる	53.8%	販路を広げる	54.9%	販路を広げる	51.0%
経費を節減する	53.4%	経費を節減する	46.9%	経費を節減する	42.4%	経費を節減する	36.7%
人材を確保する	14.9%	人材を確保する	13.3%	人材を確保する	16.7%	人材を確保する	17.7%
情報力を強化する	13.5%	情報力を強化する		11.1%	情報力を強化する	10.9%	
提携先を見つける	7.4%	提携先を見つける	7.7%	機械化を推進する	8.3%	新製品・技術を開発する	8.8%



製造業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内の今期D.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 食料品

業況（ $\Delta 12.8 \rightarrow \Delta 21.3 \rightarrow \Delta 21.5$ ）は前期並の悪化幅で推移した。売上額（ $\Delta 8.7 \rightarrow \Delta 18.2 \rightarrow \Delta 21.6$ ）と受注残（ $0.5 \rightarrow \Delta 2.3 \rightarrow \Delta 7.6$ ）は減少幅が多少拡大し、収益（ $\Delta 28.0 \rightarrow \Delta 20.7 \rightarrow \Delta 32.9$ ）は減益傾向が大きく強まった。

販売価格（ $26.2 \rightarrow \Delta 7.3 \rightarrow 20.9$ ）は下降から上昇に転じて極端に上昇傾向を強め、原材料価格（ $60.4 \rightarrow 20.4 \rightarrow 60.4$ ）も上昇幅が非常に大きく拡大した。原材料在庫数量（ $1.4 \rightarrow \Delta 0.2 \rightarrow 1.3$ ）は適正水準を維持した。

資金繰り（ $\Delta 16.1 \rightarrow \Delta 3.7 \rightarrow \Delta 20.9$ ）は窮屈感が大幅に強まり、借入難易度（ $0.0 \rightarrow 11.1 \rightarrow 0.0$ ）は容易さがなくなった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 10.7$ 予想）は悪化幅が大きく縮小すると見ている。売上額（ $\Delta 2.6$ 予想）と受注残（ $\Delta 0.6$ 予想）は減少傾向が大幅に改善され、収益（ $\Delta 3.0$ 予想）は極端に持ち直して減益傾向が一服すると見込んでいる。販売価格（ 7.2 予想）は上昇が大幅に弱まり、原材料価格（ 49.3 予想）も厳しい状況は続くものの上昇幅が大きく縮小すると予想している。原材料在庫数量（ 0.8 ）は引き続き適正水準に保たれると予想している。

② 一般、金型、電気、輸送、精密機械器具

業況（ $\Delta 16.3 \rightarrow \Delta 7.6 \rightarrow \Delta 25.2$ ）は悪化幅が大きく拡大した。売上額（ $\Delta 6.0 \rightarrow 1.7 \rightarrow \Delta 8.4$ ）は再び下降に大きく転じたが、受注残（ $\Delta 4.1 \rightarrow \Delta 17.8 \rightarrow \Delta 15.8$ ）は減少が幾分弱まり、収益（ $\Delta 14.9 \rightarrow \Delta 18.8 \rightarrow \Delta 11.2$ ）は減益傾向が水面下ながら大きく改善した。

販売価格（ $8.4 \rightarrow 15.1 \rightarrow \Delta 0.1$ ）は上昇傾向が大幅に後退したが、原材料価格（ $44.2 \rightarrow 38.2 \rightarrow 37.9$ ）は前期並の厳しい状況が続いた。原材料在庫数量（ $5.2 \rightarrow 8.9 \rightarrow 4.8$ ）は過剰感が多少改善した。

資金繰り（ $\Delta 12.4 \rightarrow \Delta 15.9 \rightarrow \Delta 11.2$ ）は窮屈感がやや緩和され、借入難易度（ $\Delta 13.7 \rightarrow \Delta 11.7 \rightarrow 0.0$ ）は厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 23.0$ 予想）は悪化傾向がわずかに弱まると予想している。売上額（ 2.6 予想）は大きく持ち直して増加に転じ、受注残（ $\Delta 8.8$ 予想）と収益（ $\Delta 2.2$ 予想）は減少・減益傾向ながら大幅に改善すると見込んでいる。販売価格（ $\Delta 2.7$ ）は下降が幾分強まり、原材料価格（ 35.5 予想）は上昇がわずかに弱まると予想している。原材料在庫数量（ 2.0 ）は過剰感が改善し適正範囲になると見ている。

③ 金属製品、建設用金属製品

業況（ $\Delta 8.6 \rightarrow \Delta 1.8 \rightarrow \Delta 12.4$ ）は悪化傾向が大幅に強まった。売上額（ $\Delta 2.2 \rightarrow \Delta 16.1 \rightarrow \Delta 16.7$ ）は前期同様の減少幅で推移し、受注残（ $\Delta 14.7 \rightarrow \Delta 16.1 \rightarrow \Delta 19.0$ ）と収益（ $\Delta 17.1 \rightarrow \Delta 12.8 \rightarrow \Delta 16.1$ ）は減少・減益傾向が多少強まった。

販売価格（ $2.1 \rightarrow 2.6 \rightarrow \Delta 0.1$ ）は上昇からわずかに下降に転じ、原材料価格（ $33.4 \rightarrow 32.9 \rightarrow 31.3$ ）は前期並の厳しい上昇が続いた。原材料在庫数量（ $\Delta 10.4 \rightarrow 7.6 \rightarrow \Delta 0.5$ ）は過剰感が解消され適正範囲となった。

資金繰り（ $\Delta 5.4 \rightarrow \Delta 6.8 \rightarrow \Delta 8.3$ ）は前期並の窮屈感が続き、借入難易度（ $0.0 \rightarrow 0.0 \rightarrow \Delta 4.4$ ）は厳しい状況となった。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 16.3$ 予想）は悪化傾向が多少強まると見ている。売上額（ $\Delta 18.7$ 予想）と受注残（ $\Delta 24.0$ 予想）は減少幅が若干拡大し、収益（ $\Delta 24.4$ 予想）は減益傾向が大きく強まると見ている。販売価格（ $\Delta 0.7$ 予想）は停滞が続き、原材料価格（ 26.7 予想）は上昇が若干弱まると見ている。原材料在庫数量（ 4.6 ）は再び過剰感が現れると予想している。

④ パルプ・紙、印刷、製本業

業況（ $3.4 \rightarrow \Delta 16.6 \rightarrow \Delta 13.2$ ）は悪化幅が幾分縮小した。売上額（ $\Delta 3.6 \rightarrow \Delta 10.7 \rightarrow \Delta 18.9$ ）、受注残（ $13.3 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow \Delta 19.8$ ）、収益（ $\Delta 1.9 \rightarrow \Delta 2.1 \rightarrow \Delta 17.0$ ）はともに減少・減益傾向が大幅に強まった。

販売価格（ $9.9 \rightarrow 11.9 \rightarrow 2.1$ ）は上昇が大幅に弱まり好調感が後退したが、原材料価格（ $5.8 \rightarrow 19.8 \rightarrow 8.3$ ）は上昇が大幅に強まり厳しさが和らいだ。原材料在庫数量（ $\Delta 5.7 \rightarrow 7.8 \rightarrow \Delta 6.1$ ）は大幅に減少し不足に転じた。

資金繰り（ $\Delta 11.9 \rightarrow \Delta 4.9 \rightarrow \Delta 10.2$ ）はわずかに窮屈感が強まり、借入難易度（ $\Delta 12.5 \rightarrow \Delta 12.5 \rightarrow \Delta 22.2$ ）は厳しさが大幅に増した。

来期の見通しは、業況（ $\Delta 11.3$ 予想）は今期並の悪化水準が続くと見ている。売上額（ $\Delta 23.7$ 予想）は減少幅が多少拡大するが、受注残（ $\Delta 20.6$ 予想）と収益（ $\Delta 18.0$ 予想）は今期同様の減少・減益傾向で推移すると見ている。販売価格（ $\Delta 2.0$ 予想）は上昇から下降にわずかに転じるが、原材料価格（ $\Delta 0.8$ 予想）は大幅に下降し好感が出てくると予想している。原材料在庫数量（ $\Delta 4.1$ 予想）は不足感が多少改善すると予想している。

⑤ 木材・木製品、家具・装備品

業況 (2.4→△8.9→△6.1) は悪化幅がわずかに縮小したが、売上額 (12.9→△5.3→△18.5) と受注残 (2.4→△0.6→△10.9) は減少傾向が大幅に強まり、収益 (2.8→12.6→△4.4) は大幅に後退し減益に転じた。

販売価格 (3.6→15.1→3.2) と原材料価格 (30.6→39.3→28.1) は上昇が大幅に弱まり、原材料在庫数量 (13.7→20.6→5.8) は過剰感が大きく緩和した。

資金繰り (△0.6→△6.3→△1.0) は窮屈感が大きく緩和され、借入難易度 (△9.1→△8.4→8.4) は大幅に改善し容易な状況となった。

来期の見通しは、業況 (2.4 予想) は大きく持ち直してプラスに転じると見ている。売上額 (13.1 予想)、受注残 (16.7 予想)、収益 (14.7 予想) はともに極端に改善し増勢に転じると見込んでいる。販売価格 (16.9 予想) は再び大きく上昇し、原材料価格 (29.0 予想) は今期同様の上昇水準で推移すると予想している。原材料在庫数量 (5.1) は今期並の過剰感が続くことと予想している。

⑥ 繊維工業、衣服・その他の繊維製品

業況 (△32.0→△33.5→△21.2) は厳しい状況は続くものの大幅に改善した。売上額 (△19.1→△5.3→2.1) は大きく持ち直しわずかにプラスに転じた。受注残 (△9.5→△15.9→△7.4) は減少傾向が大幅に弱まり、収益 (△16.6→△15.5→△13.4) は減少・減益幅がわずかに縮小した。

販売価格 (8.3→△3.7→2.6) は下降から上昇に転じ再び好調となったが、原材料価格 (31.4→8.9→18.7) は大きく上昇し厳しさが増した。原材料在庫数量 (△9.5→△13.3→△1.8) は不足感が大幅に和らぎ適正水準となった。

資金繰り (△20.4→△22.5→△2.8) は窮屈感がわずかにあるものの極端に改善したが、借入難易度 (△33.3→△40.0→△44.4) は厳しさがさらに増した。

来期の見通しは、業況 (△22.7 予想) は今期並の悪化幅で推移すると予想している。売上額 (3.5 予想) は今期同様の増加水準が続き、受注残 (2.5 予想) は大きく改善し増加に転じ、収益 (△1.3 予想) は減少・減益傾向ながら大幅に改善すると見ている。販売価格 (5.3 予想) は上昇をやや強め、原材料価格 (19.2 予想) は今期並の上昇幅で推移すると予想している。原材料在庫数量 (△12.7) は受注残の改善にともない不足感が大幅に強まると予想している。

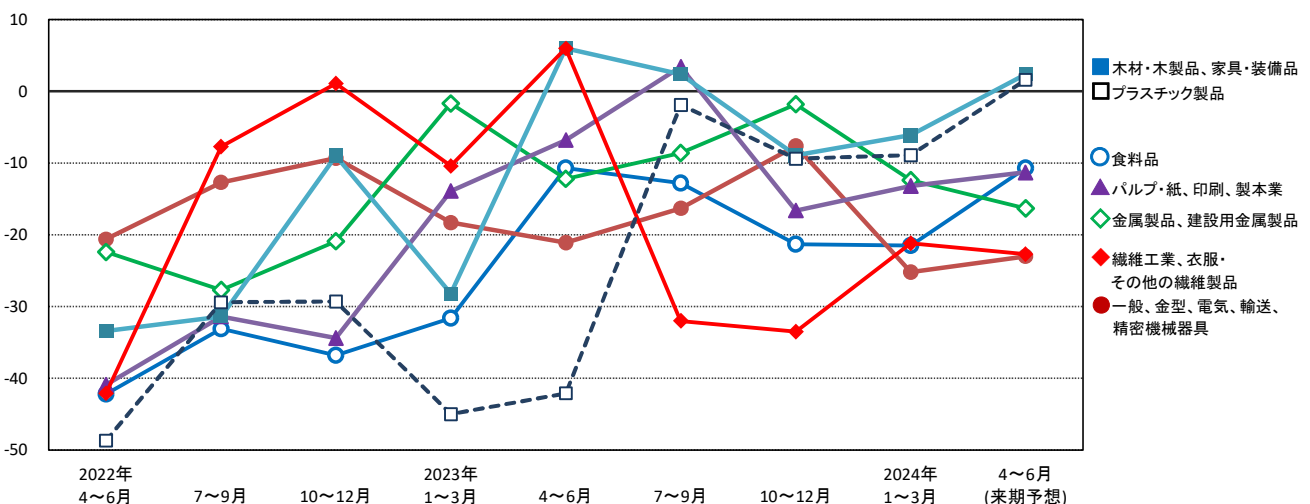
⑦ プラスチック製品

業況 (△1.9→△9.4→△8.9) は前期並の悪化水準が続いた。売上額 (10.2→△4.9→△11.9) と受注残 (0.3→△15.7→△23.2) は減少傾向を大幅に強め、収益 (△9.4→3.4→△33.4) は極端に悪化し水面下に大きく落込んだ。

販売価格 (14.6→6.1→18.5) は大きく上昇したが、原材料価格 (42.0→29.6→42.8) も上昇傾向を大幅に強めたため厳しさが増した。原材料在庫数量 (4.2→△7.7→△2.9) は不足感が緩和した。

資金繰り (1.7→△17.0→3.3) は大幅に改善し窮屈感を脱したが、借入難易度 (△7.7→△7.7→△6.7) は前期並の厳しさが続いた。

来期の見通しは、業況 (1.6 予想) は大きく持ち直しプラスに転じると予想している。売上額 (10.0 予想) は極端に改善し増勢となり、受注残 (△6.2 予想) は減少幅が大きく縮小し、収益 (△26.0 予想) は減益傾向ながら大幅に改善する見込んでいる。販売価格 (20.7 予想) は多少上昇を強め、原材料価格 (41.9 予想) は今期同様の厳しい上昇水準が続くと予想している。原材料在庫数量 (△1.9) は不足感が解消され適正水準になると予想している。



卸 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 22.4 \rightarrow \Delta 5.1 \rightarrow 2.4$ ）は大きく持ち直してわずかにプラスに転じた。

売上額（ $\Delta 1.4 \rightarrow \Delta 7.8 \rightarrow \Delta 16.2$ ）は減少が大幅に強まったが、収益（ $\Delta 6.3 \rightarrow \Delta 34.0 \rightarrow \Delta 14.2$ ）は減益傾向が続くものの極端に改善された。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 24.2$ 予想）は極端に下降し水面下に落ち込むと予想している。売上額（ $\Delta 29.6$ 予想）と収益（ $\Delta 27.1$ 予想）も減少・減益傾向を大幅に強めると見ている。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $39.7 \rightarrow 18.7 \rightarrow 18.8$ ）は前期同様の上昇水準が続き、仕入価格（ $47.9 \rightarrow 32.0 \rightarrow 15.1$ ）は上昇傾向が大幅に弱まった。

在庫数量（ $11.4 \rightarrow \Delta 3.6 \rightarrow 10.6$ ）は再び不足から過剰に大きく転じた。

来期の見通しについて、販売価格（ 20.4 予想）は上昇傾向が幾分強まり、仕入価格（ 17.1 予想）も上昇幅が若干拡大すると見ている。在庫数量（ 0.2 予想）は過剰感が解消し適正範囲になると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（ $17.2 \rightarrow 2.4 \rightarrow \Delta 1.2$ ）はわずかに窮屈感が現れ、借入難易度（ $\Delta 14.3 \rightarrow 23.1 \rightarrow 6.7$ ）は容易さが大幅に後退した。

設備投資を「実施した」企業（ $22.2\% \rightarrow 29.4\% \rightarrow 11.1\%$ ）は前期から 18.3% 減少した。

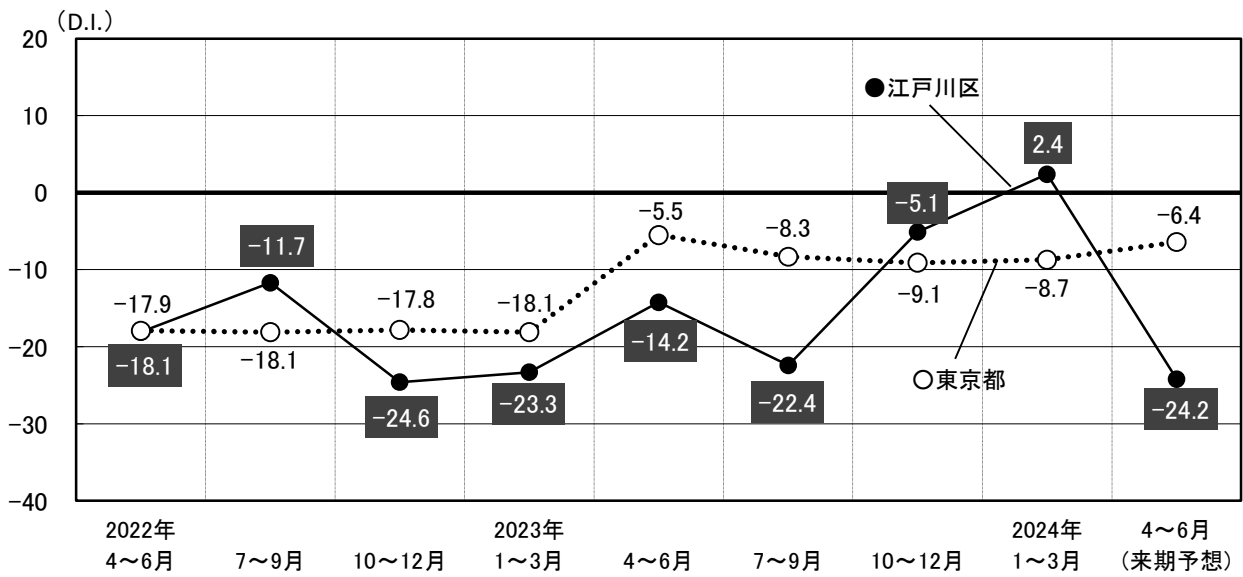
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 4.7$ 予想）は窮屈感が多少増すと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

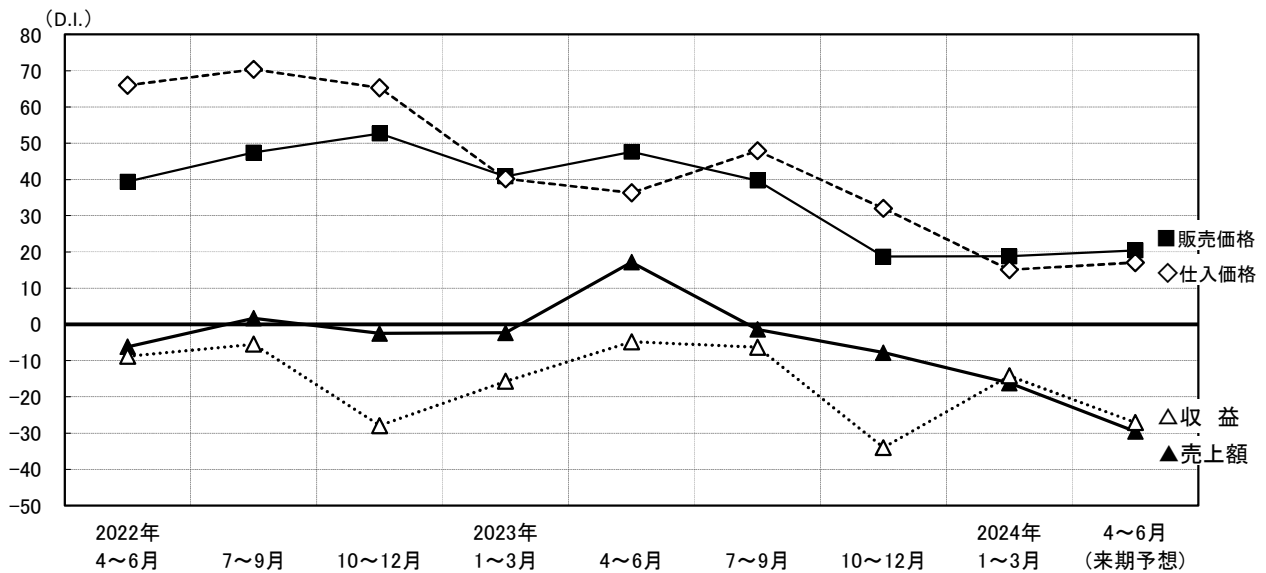
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（ 42.1% ）が今期は最多となった。以下、「同業者間の競争の激化」（ 26.3% ）、「仕入先からの値上げ要請」、「人手不足」、「取引先の減少」（各 21.1% ）の順であった。

重点経営施策は、「販路を広げる」（ 52.6% ）が今期も最多となった。以下、「経費を節減する」と「人材を確保する」（各 31.6% ）、「品揃えを充実する」と「提携先を見つける」（各 15.8% ）の順であった。

【卸売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

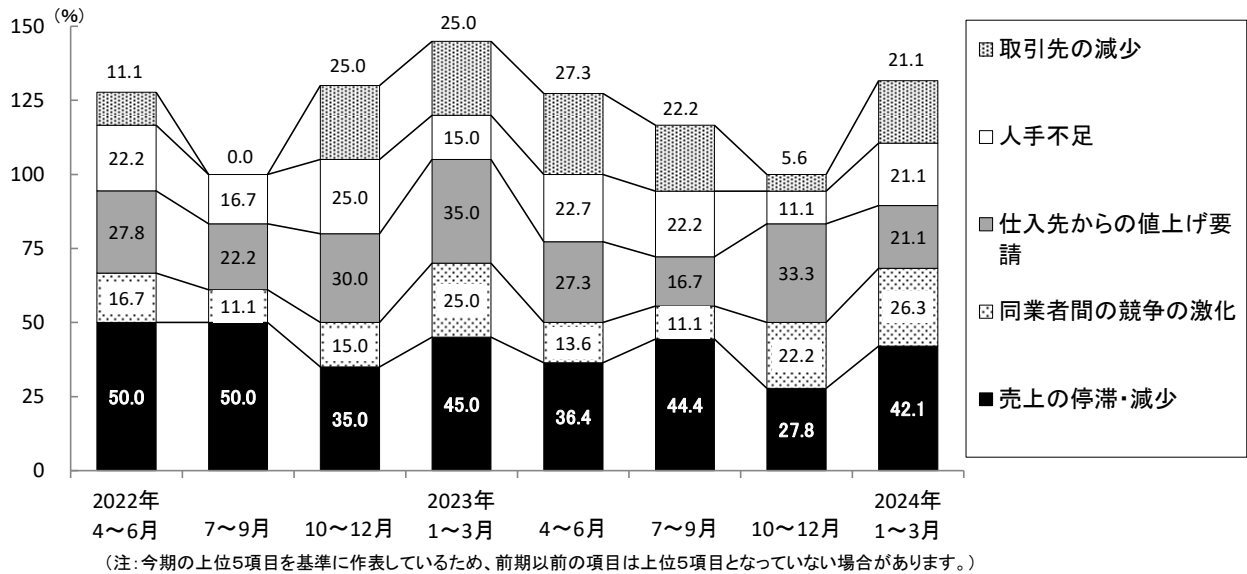


【卸売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移



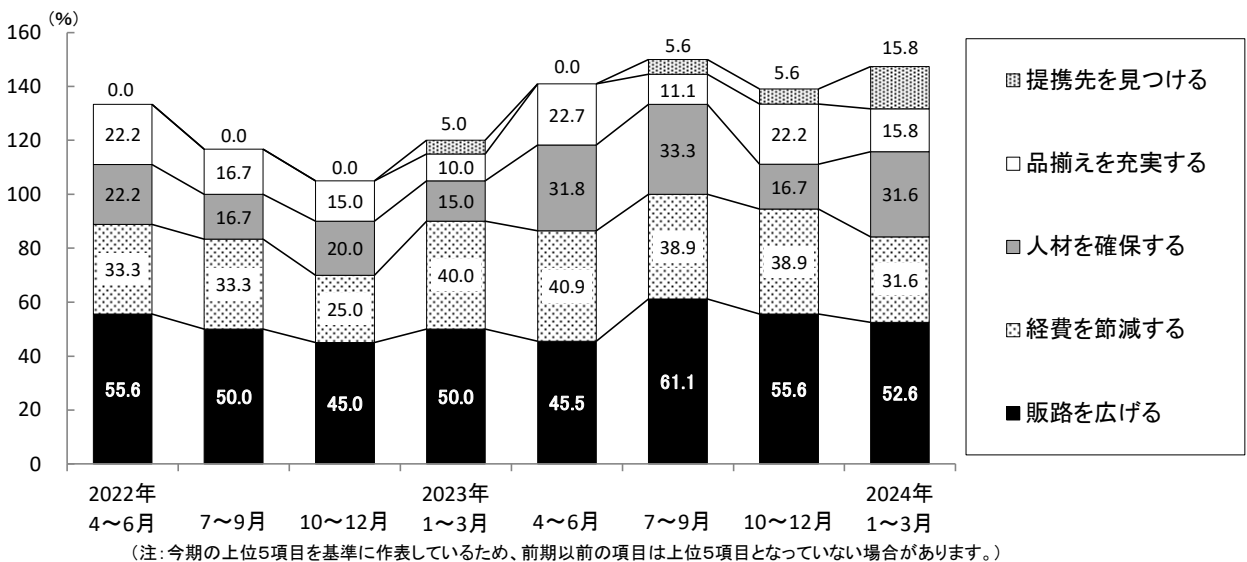
【卸売業】 経営上の問題点 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
売上の停滞・減少	36.4%	売上の停滞・減少	44.4%	仕入先からの値上げ要請	33.3%	売上の停滞・減少	42.1%
仕入先からの値上げ要請	27.3%	取引先の減少	22.2%	売上の停滞・減少	27.8%	同業者間の競争の激化	26.3%
取引先の減少		人手不足		同業者間の競争の激化	22.2%		
利幅の縮小	22.7%	仕入先からの値上げ要請	16.7%	利幅の縮小	16.7%	仕入先からの値上げ要請	21.1%
人手不足		利幅の縮小／同業者間の競争の激化／販売商品の不足／駐車場の確保難／人件費の増加／人件費以外の経費の増加	11.1%			販売商品の不足	



【卸売業】 重点経営施策 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
販路を広げる	45.5%	販路を広げる	61.1%	販路を広げる	55.6%	販路を広げる	52.6%
経費を節減する	40.9%	経費を節減する	38.9%	経費を節減する	38.9%	経費を節減する	31.6%
人材を確保する	31.8%	人材を確保する	33.3%	品揃えを充実する	22.2%	人材を確保する	
品揃えを充実する	22.7%	品揃えを充実する	11.1%	情報を強化する		品揃えを充実する	15.8%
情報を強化する	18.2%	情報を強化する		人材を確保する 新しい事業を始める	16.7%	提携先を見つける	



小 売 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（△16.6→△10.5→△23.2）は悪化傾向が大きく強まった。

売上額（△10.2→△8.8→△21.5）は減少幅が大きく拡大し、収益（△12.7→△21.9→△24.2）は減益傾向がさらに強まった。

来期の見通しについて、業況（△15.0予想）は水面下ながら大きく持ち直すと予想している。売上額（△13.1予想）と収益（△17.5予想）は減少・減益傾向が大幅に改善すると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（9.4→9.2→12.2）は上昇幅がわずかに拡大し、仕入価格（19.1→25.5→23.2）は上昇傾向が若干弱まった。

在庫数量（△1.8→△0.4→△2.6）はわずかに不足感が現れた。

来期の見通しについて、販売価格（10.8予想）と仕入価格（23.8予想）は今期並の上昇幅で推移すると見ている。在庫数量（△2.1予想）は今期同様の水準が続くと予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（△11.2→△13.2→△18.9）は窮屈感がかなり強まり、借入難易度（△3.5→△5.4→△8.2）も厳しさが多少増した。

設備投資を「実施した」企業（11.5%→9.5%→10.0%）は前期から0.5%増加した。

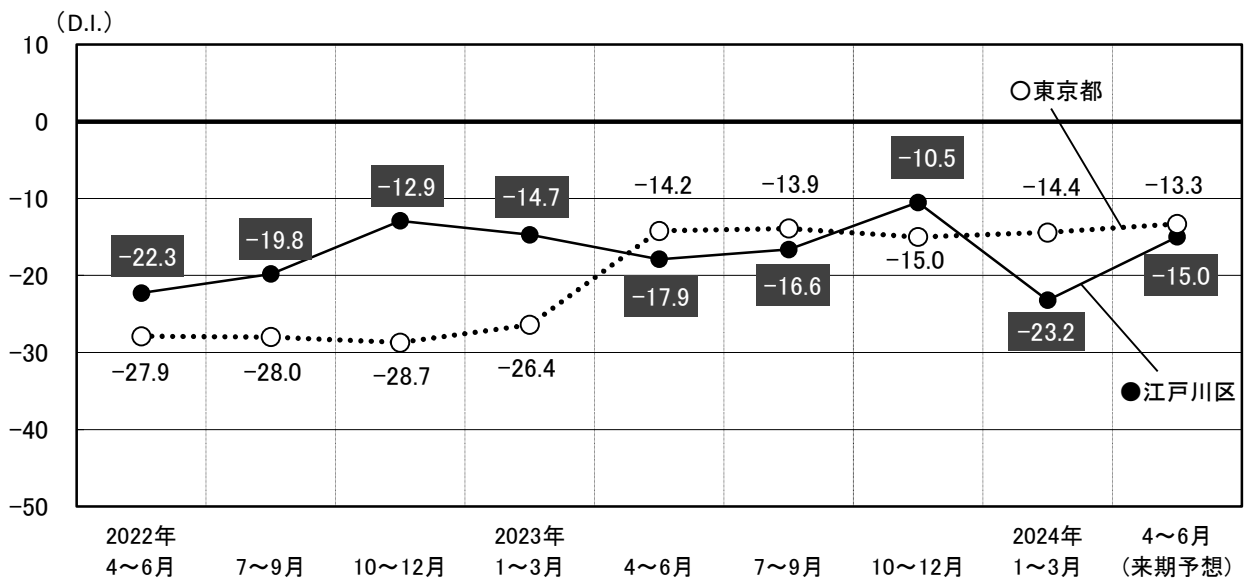
来期の見通しについて、資金繰り（△17.5予想）は今期同様の窮屈感で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

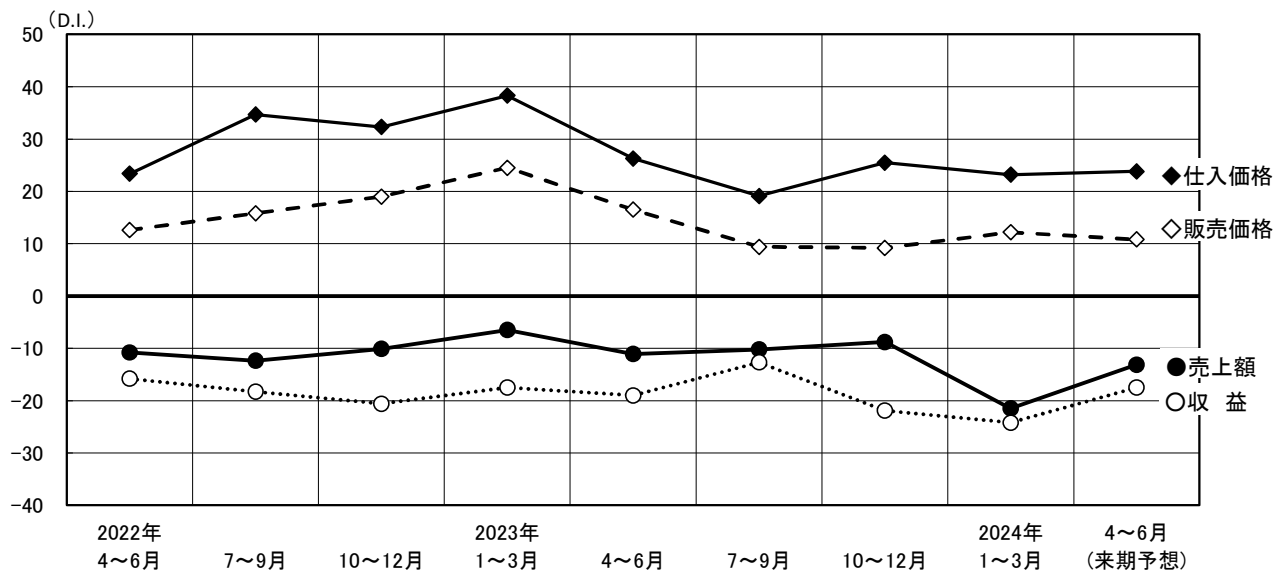
経営上の問題点は、「売上の停滞・減少」（41.0%）が今期も最多となった。以下、「利幅の縮小」（23.0%）、「同業者間の競争の激化」（18.0%）、「商店街の集客力の低下」と「大型店との競争の激化」（各13.1%）の順であった。

重点経営施策は、「経費を節減する」（36.1%）が今期も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」（26.2%）、「品揃えを改善する」（24.6%）、「商店街事業を活性化させる」（11.5%）、「仕入先を開拓・選別する」（6.6%）の順であった。

【小売業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【小売業】 売上額・収益・販売価格・仕入価格の推移

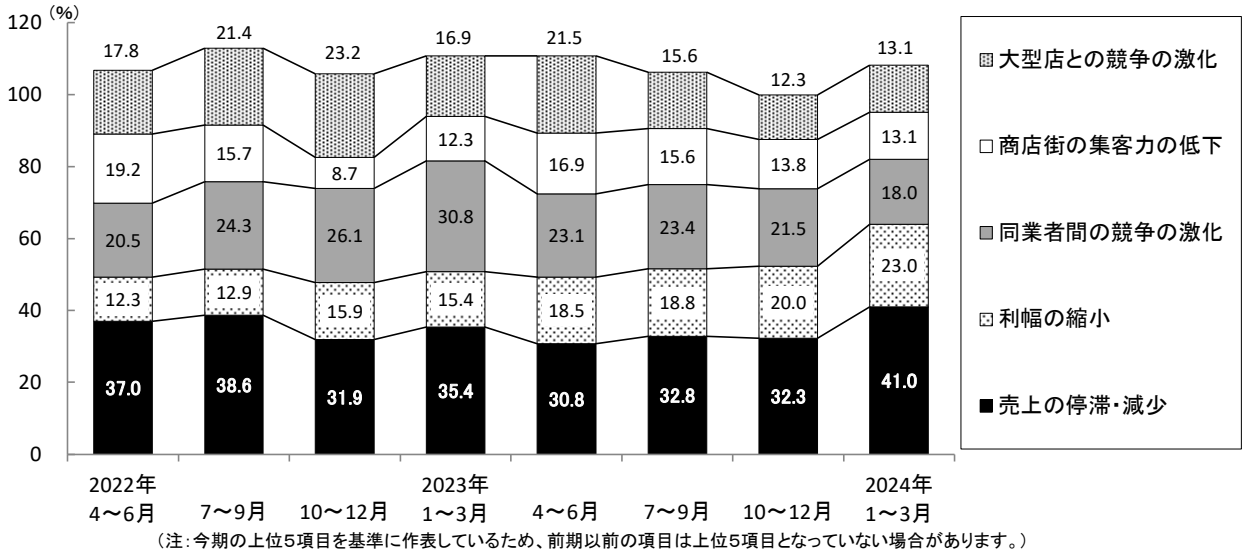


【小売業】

経営上の問題点

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
売上の停滞・減少	30.8%	売上の停滞・減少	32.8%	売上の停滞・減少	32.3%	売上の停滞・減少	41.0%
同業者間の競争の激化	23.1%	同業者間の競争の激化	23.4%	同業者間の競争の激化	21.5%	利幅の縮小	23.0%
大型店との競争の激化	21.5%	利幅の縮小	18.8%	利幅の縮小	20.0%	同業者間の競争の激化	18.0%
利幅の縮小	18.5%	大型店との競争の激化	15.6%	仕入先からの値上げ要請	16.9%	商店街の集客力の低下	13.1%
商店街の集客力の低下	16.9%	商店街の集客力の低下		13.8%	大型店との競争の激化		

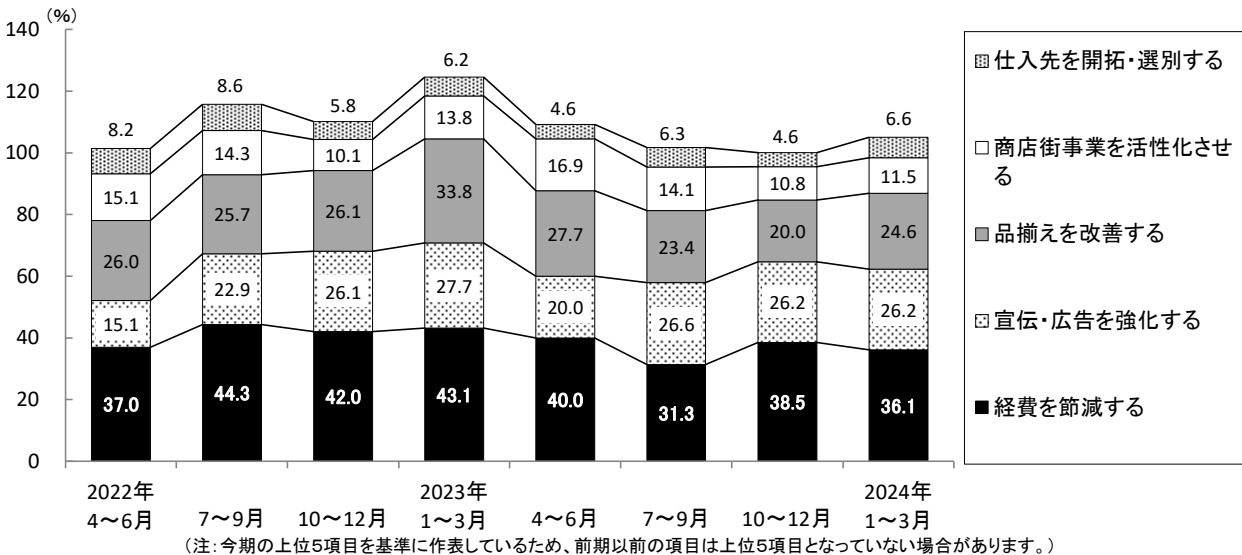


【小売業】

重点経営施策

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
経費を節減する	40.0%	経費を節減する	31.3%	経費を節減する	38.5%	経費を節減する	36.1%
品揃えを改善する	27.7%	宣伝・広告を強化する	26.6%	宣伝・広告を強化する	26.2%	宣伝・広告を強化する	26.2%
宣伝・広告を強化する	20.0%	品揃えを改善する	23.4%	品揃えを改善する	20.0%	品揃えを改善する	24.6%
商店街事業を活性化させる	16.9%	商店街事業を活性化させる	14.1%	人材を確保する	12.3%	商店街事業を活性化させる	11.5%
売れ筋商品を取り扱う	12.3%	売れ筋商品を取り扱う	12.5%	商店街事業を活性化させる	10.8%	仕入先を開拓・選別する	6.6%



小売業の中分類業種別動向

注：コメント中の（）内の今期D.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

① 家具・じゅう器、家電・家庭用機械

業況（1.4→△3.3→△9.8）は悪化傾向がかなり強まった。売上額（3.6→0.5→△12.7）は増勢から減少に大きく落込み、収益（5.7→△7.7→△25.1）は減少・減益傾向を大幅に強めた。

販売価格（△1.7→4.4→21.8）と仕入価格（25.1→20.7→38.5）は上昇傾向が大幅に強まった。在庫数量（△17.9→△8.9→△3.8）は不足感がかなり緩和された。

資金繰り（△2.1→△15.8→△10.9）は窮屈感が多少緩和され、借入難易度（0.0→△12.5→0.0）は厳しさがなくなった。

来期の見通しは、業況（7.9 予想）は大幅に改善しプラスに転じると予想しており、売上額（23.4 予想）と収益（11.0 予想）も極端に持ち直して増勢になると見ている。販売価格（10.3 予想）と仕入価格（23.4 予想）も上昇が大幅に弱まると予想している。在庫数量（△3.5）は今期並の不足感が続くと予想している。

② 飲食料品

業況（△25.0→△14.0→△30.4）は再び厳しさが大幅に増した。売上額（△20.9→△9.4→△24.4）は減少が大きく強まったが、収益（△19.5→△25.3→△23.2）は減益幅が若干縮小した。

販売価格（11.6→13.7→22.2）は上昇を大幅に強め、仕入価格（18.2→32.6→28.4）は上昇傾向が多少弱まった。在庫数量（0.6→0.6→8.7）は適正水準から過剰感が大きく現れた。

資金繰り（△23.6→△29.7→△32.3）は窮屈感を更に強め、借入難易度（△4.7→△15.8→△25.0）も厳しさが大幅に増した。

来期の見通しは、業況（△21.6 予想）は厳しさが大幅に和らぐと予想している。売上額（△21.2 予想）は減少傾向が若干弱まるが、収益（△26.0 予想）は減益幅がわずかに拡大すると見ている。販売価格（21.2 予想）は今期並の上昇幅で推移し、仕入価格（38.6 予想）は上昇傾向が大きく強まると予想している。在庫数量（7.1）は今期同様の過剰感で推移すると予想している。

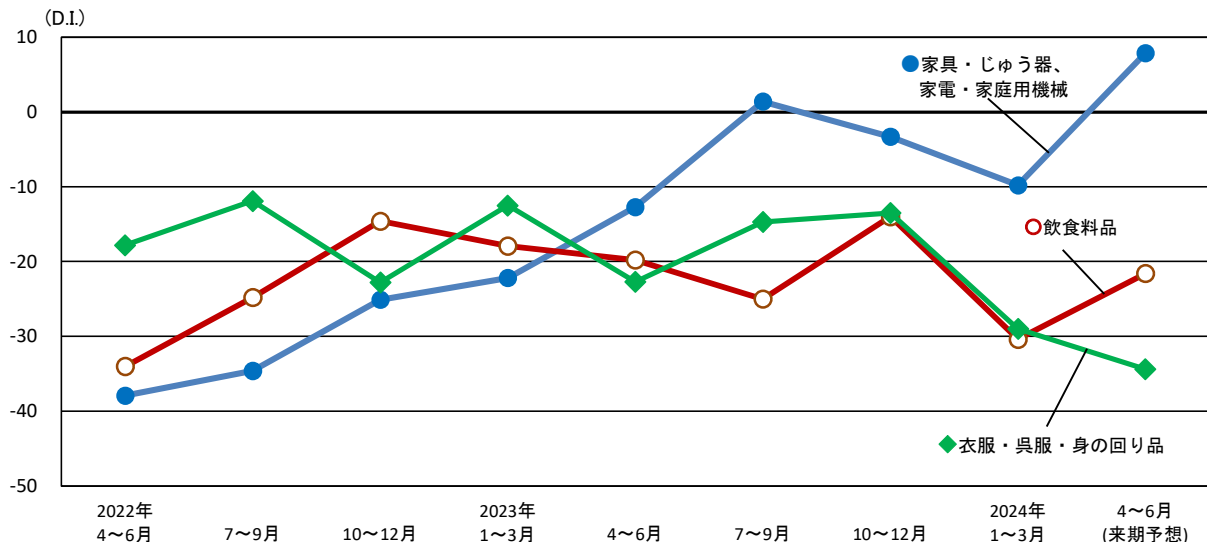
③ 衣服、呉服、身の回り品

業況（△14.7→△13.5→△29.0）は厳しさが大幅に増した。売上額（△1.3→△15.3→△12.5）は減少がわずかに弱まったが、収益（△15.9→△16.1→△29.1）は減益傾向を大幅に強めた。

販売価格（2.6→△17.4→△3.8）と仕入価格（3.0→△17.0→△4.9）は下降傾向が大幅に弱まった。在庫数量（△14.7→△16.6→△31.2）は不足感が大幅に増した。

資金繰り（△11.5→△17.9→△31.9）は窮屈感がかなり強まり、借入難易度（△20.0→△20.0→△25.0）も厳しさが大きく増した。

来期の見通しは、業況（△34.4 予想）はさらに悪化傾向が強まると見ている。売上額（△14.9 予想）は減少幅が多少拡大し、収益（△30.8 予想）は今期並の減益傾向が続くと予想している。販売価格（△2.9 予想）と仕入価格（△4.1 予想）は今期同様の水準で推移すると予想している。在庫数量（△30.4）も今期並の不足感が続くと予想している。



サービス業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 3.9 \rightarrow \Delta 9.9 \rightarrow 3.6$ ）は大幅に持ち直して好調に転じた。

売上額（ $5.3 \rightarrow 1.6 \rightarrow 8.8$ ）は堅調に推移し、収益（ $3.5 \rightarrow \Delta 3.4 \rightarrow 2.8$ ）は大幅に改善し増勢に転じた。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 0.9$ 予想）は後退しわずかに水面下に落ち込むと見ている。売上額（ 1.9 予想）は増勢が一服し、収益（ $\Delta 8.3$ 予想）は大幅に後退し再び減少に転じると予想している。

（２）料金、材料価格

料金価格（ $7.9 \rightarrow 13.4 \rightarrow 18.7$ ）は上昇傾向をさらに強めた。材料価格（ $31.1 \rightarrow 41.6 \rightarrow 39.7$ ）は前期同様の厳しさが続いた。

来期の見通しについて、料金価格（ 16.7 予想）は上昇傾向がわずかに弱まり、材料価格（ 34.3 予想）も厳しい状況ながら上昇が多少弱まると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（ $\Delta 3.0 \rightarrow \Delta 15.4 \rightarrow \Delta 0.2$ ）は窮屈感が大幅に緩和され、借入難易度（ $\Delta 2.8 \rightarrow 0.0 \rightarrow 0.0$ ）は前期同様変わらず推移した。

設備投資を「実施した」企業（ $25.5\% \rightarrow 26.5\% \rightarrow 24.4\%$ ）は、前期から2.1ポイント減少した。

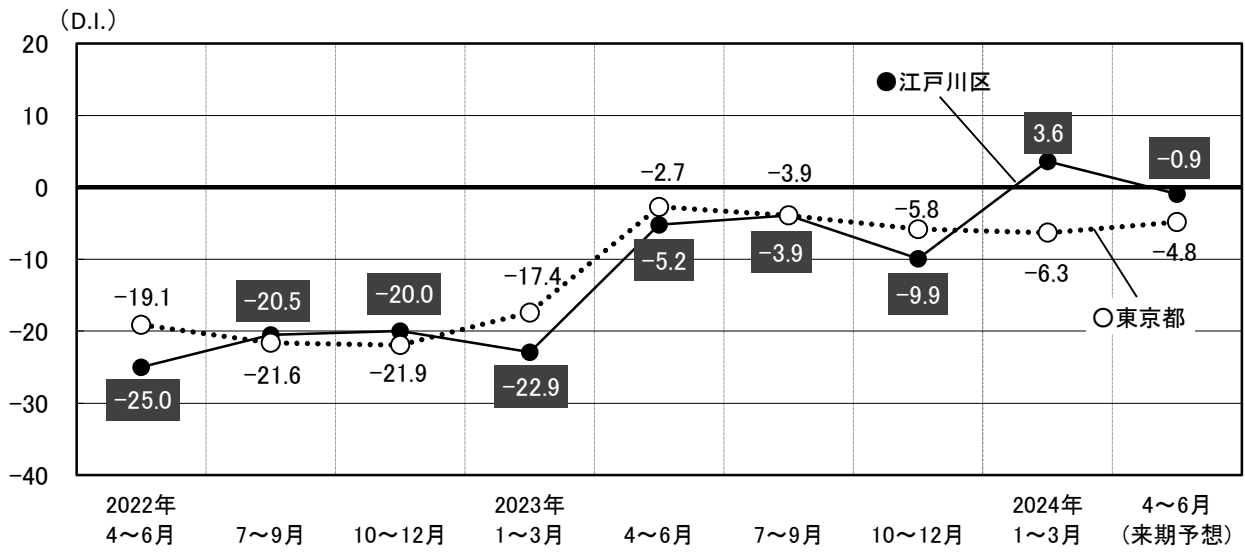
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 1.7$ 予想）は今期並の水準で推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

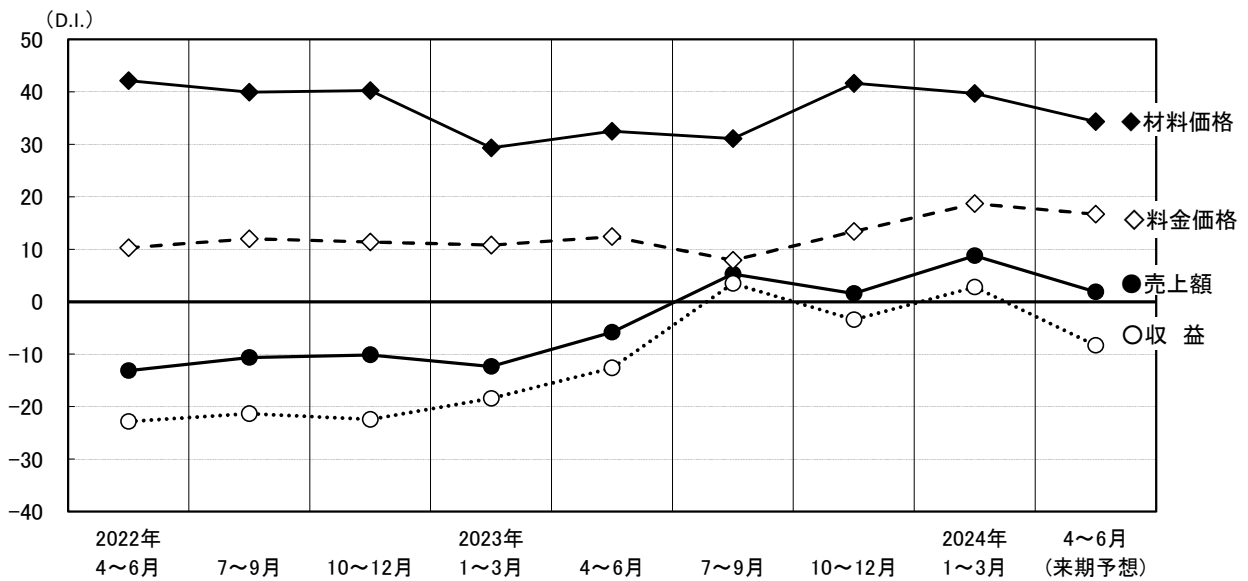
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（ 34.0% ）が今期は最多となった。以下、「売上の停滞・減少」（ 31.9% ）、「同業者間の競争の激化」と「人手不足」（各 23.4% ）、「利幅の縮小」（ 21.3% ）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（ 36.2% ）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（ 31.9% ）、「宣伝・広告を強化する」（ 25.5% ）、「人材を確保する」（ 21.3% ）、「労働条件を改善する」、「技術力を強化する」、「教育訓練を強化する」（各 10.6% ）の順であった。

【サービス業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）

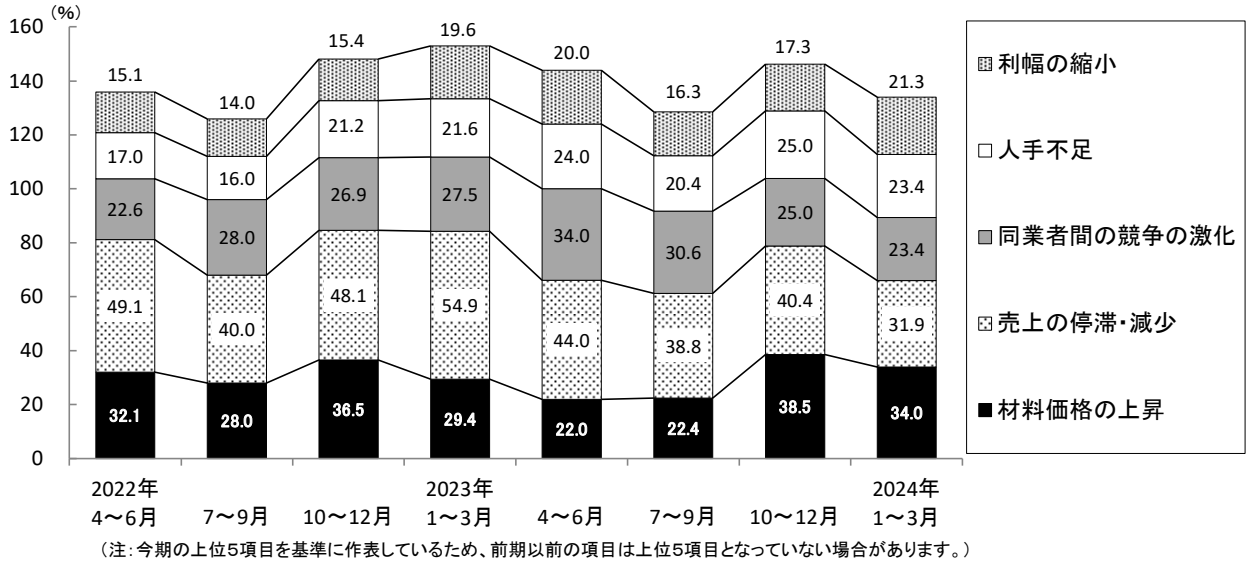


【サービス業】 売上額・収益・料金・材料価格の推移



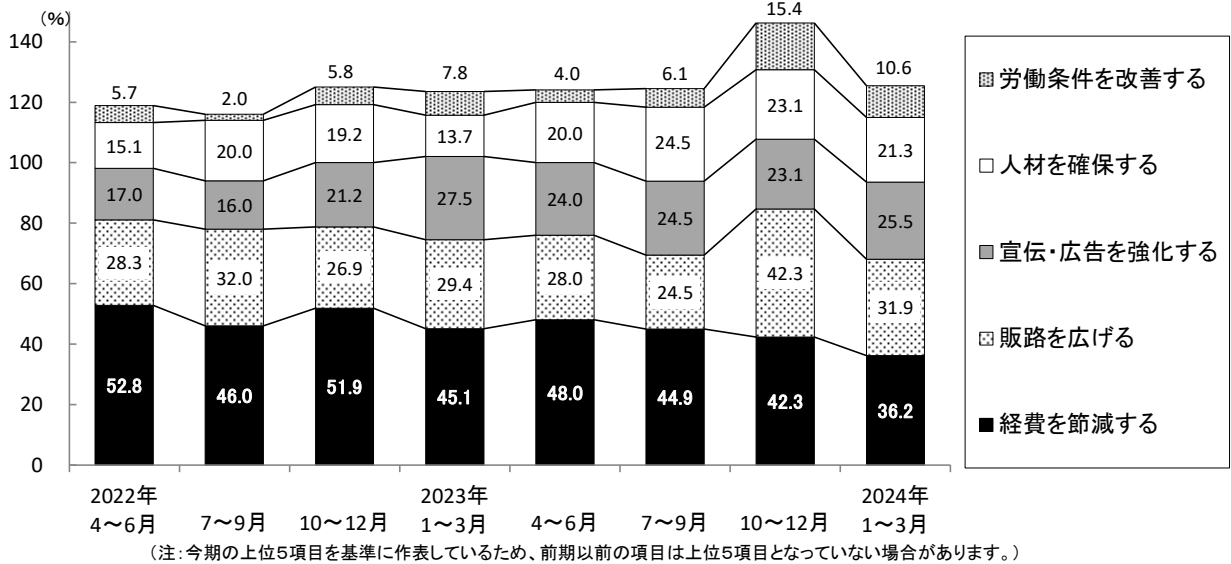
【サービス業】 経営上の問題点 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
売上の停滞・減少	44.0%	売上の停滞・減少	38.8%	売上の停滞・減少	40.4%	材料価格の上昇	34.0%
同業者間の競争の激化	34.0%	同業者間の競争の激化	30.6%	材料価格の上昇	38.5%	売上の停滞・減少	31.9%
人手不足	24.0%	材料価格の上昇	22.4%	同業者間の競争の激化	25.0%	同業者間の競争の激化	23.4%
材料価格の上昇	22.0%	人手不足	20.4%	人手不足		人手不足	
利幅の縮小	20.0%	利幅の縮小	16.3%	利幅の縮小	17.3%	利幅の縮小	21.3%



【サービス業】 重点経営施策 (複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
経費を節減する	48.0%	経費を節減する	44.9%	経費を節減する	42.3%	経費を節減する	36.2%
販路を広げる	28.0%	販路を広げる	24.5%	販路を広げる		販路を広げる	31.9%
宣伝・広告を強化する	24.0%	宣伝・広告を強化する		宣伝・広告を強化する	23.1%	宣伝・広告を強化する	25.5%
人材を確保する	20.0%	人材を確保する	人材を確保する	人材を確保する		21.3%	
教育訓練を強化する	16.0%	技術力を強化する	12.2%	労働条件を改善する	15.4%	労働条件を改善する 技術力を強化する 教育訓練を強化する	10.6%



建設業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、受注残、施工高、収益

業況（ $\Delta 8.0 \rightarrow \Delta 3.0 \rightarrow 4.0$ ）はコロナ禍前の2019年以来5年ぶりにプラスに転じた。

売上額（ $\Delta 3.2 \rightarrow \Delta 10.0 \rightarrow \Delta 3.8$ ）と収益（ $\Delta 14.8 \rightarrow \Delta 25.7 \rightarrow \Delta 6.2$ ）は減少・減益傾向が大幅に改善し、受注残（ $9.2 \rightarrow \Delta 8.1 \rightarrow \Delta 4.4$ ）も減少が弱まった。施工高（ $13.2 \rightarrow \Delta 4.0 \rightarrow 9.4$ ）は大きく持ち直して増勢に転じた。

来期の見通しについて、業況（ $\Delta 7.7$ 予想）は大きく後退して再び悪化に転じると見ている。売上額（ $\Delta 1.7$ 予想）は減少が一服し、受注残（ 2.5 予想）は大幅に改善しプラスに転じるが、施工高（ 5.3 予想）は増加傾向が若干後退し、収益（ $\Delta 15.2$ 予想）は悪化幅がかなり拡大すると予想している。

（２）請負価格、材料価格、在庫数量

請負価格（ $10.6 \rightarrow 8.1 \rightarrow 9.5$ ）は前期同様の上昇水準で推移し、材料価格（ $65.9 \rightarrow 63.6 \rightarrow 58.9$ ）は上昇が幾分弱まったものの引き続き厳しい状況が続いた。

在庫数量（ $\Delta 12.3 \rightarrow \Delta 8.9 \rightarrow \Delta 2.0$ ）は不足感が大幅に改善され適正範囲となった。

来期の見通しについて、請負価格（ 8.8 予想）は今期同様の上昇幅で推移し、材料価格（ 54.0 予想）は厳しい状況は続くものの上昇傾向が多少弱まると見ている。在庫数量（ $\Delta 0.9$ 予想）は引き続き適正範囲に保たれると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度、設備投資動向

資金繰り（ $\Delta 10.7 \rightarrow \Delta 13.9 \rightarrow \Delta 3.7$ ）は窮屈感が大幅に緩和されたが、借入難易度（ $\Delta 18.9 \rightarrow \Delta 11.6 \rightarrow \Delta 14.2$ ）は厳しさがわずかに増した。

設備投資を「実施した」企業（ $23.8\% \rightarrow 25.5\% \rightarrow 25.6\%$ ）は前期から0.1ポイントわずかに増加した。

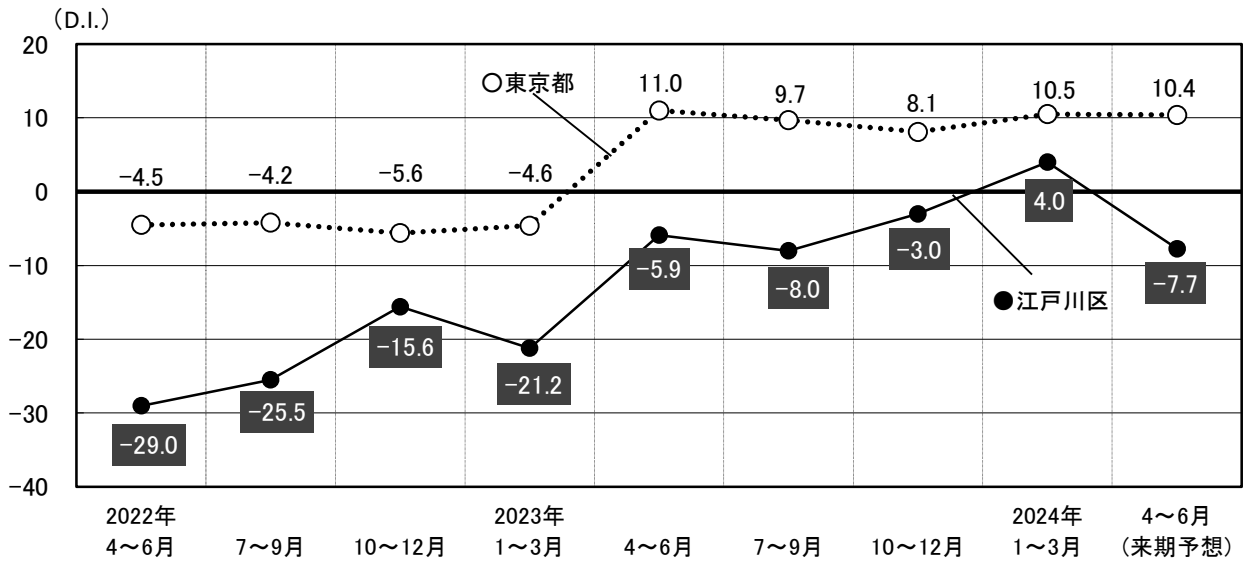
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 2.4$ 予想）は今期同様変わらず推移すると予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

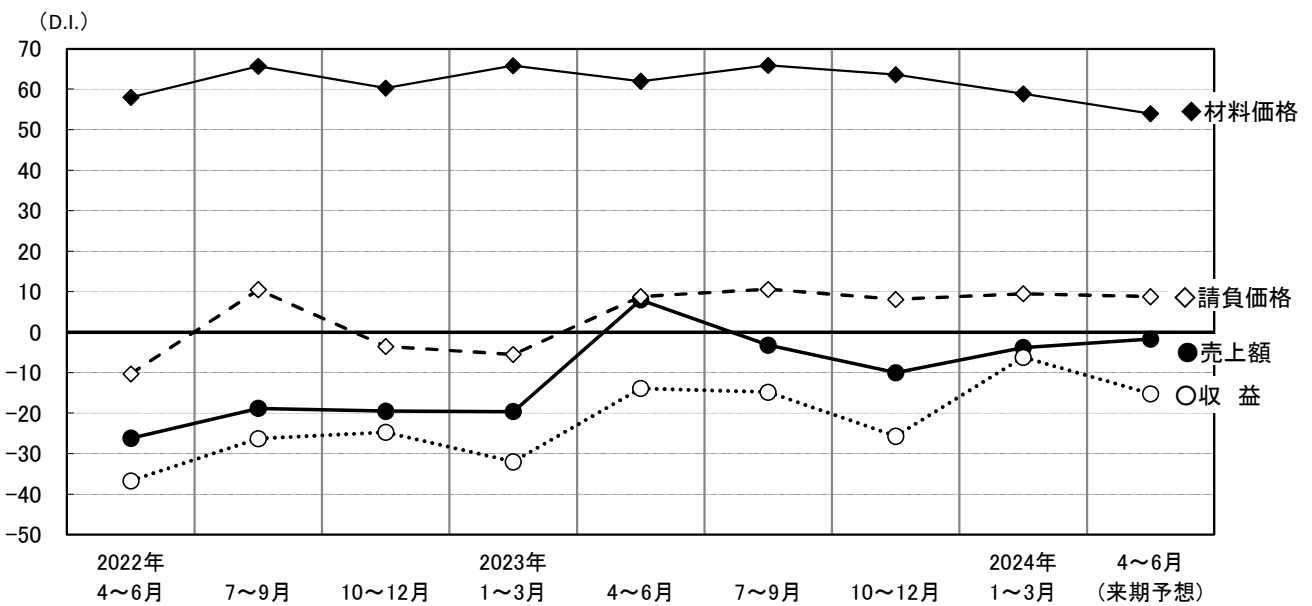
経営上の問題点は、「材料価格の上昇」（ 46.5% ）が今期も最多となった。以下、「人手不足」（ 44.2% ）、「同業者間の競争の激化」（ 27.9% ）、「売上の停滞・減少」と「利幅の縮小」（各 20.9% ）の順であった。

重点経営施策では、「経費を節減する」（ 53.5% ）が今期も最多となった。以下、「販路を広げる」（ 41.9% ）、「人材を確保する」（ 37.2% ）、「技術力を高める」と「情報力を強化する」（各 32.6% ）の順であった。

【建設業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【建設業】 売上額、収益、請負価格、材料価格の推移

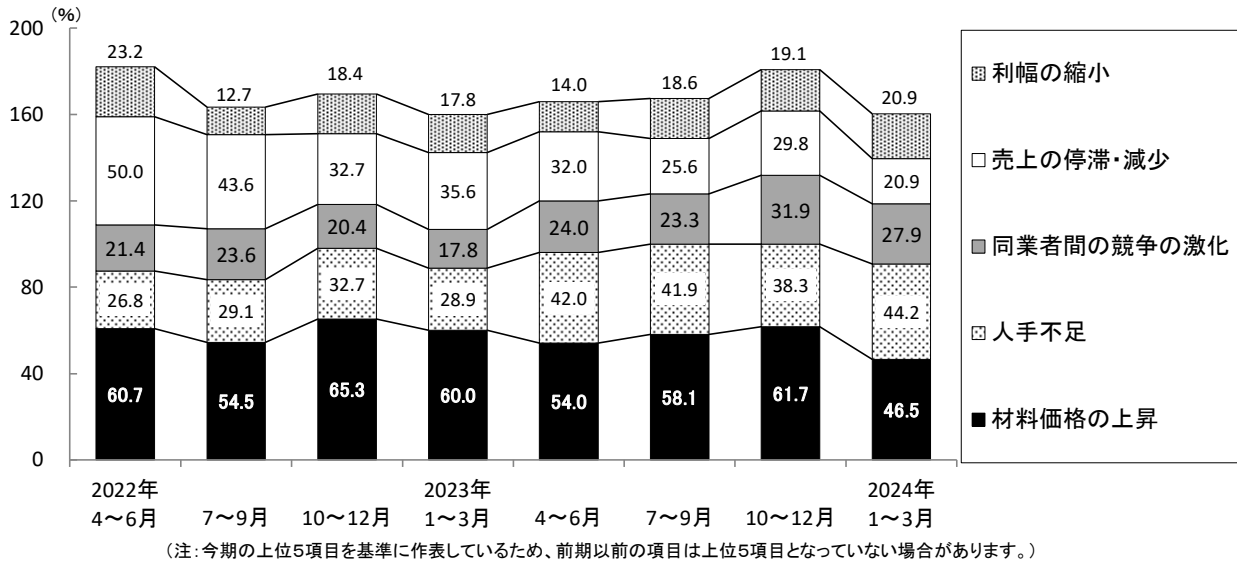


【建設業】

経営上の問題点

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
材料価格の上昇	54.0%	材料価格の上昇	58.1%	材料価格の上昇	61.7%	材料価格の上昇	46.5%
人手不足	42.0%	人手不足	41.9%	人手不足	38.3%	人手不足	44.2%
売上の停滞・減少	32.0%	売上の停滞・減少	25.6%	同業者間の競争の激化	31.9%	同業者間の競争の激化	27.9%
同業者間の競争の激化	24.0%	同業者間の競争の激化	23.3%	売上の停滞・減少	29.8%	売上の停滞・減少	20.9%
利幅の縮小	14.0%	利幅の縮小	18.6%	利幅の縮小	19.1%	利幅の縮小	

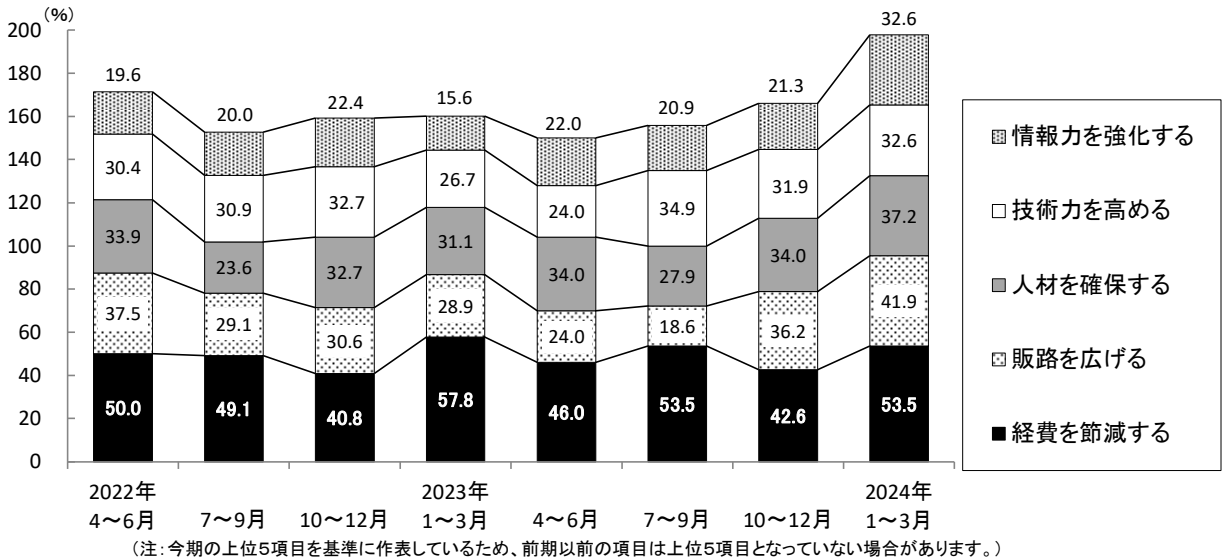


【建設業】

重点経営施策

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
経費を節減する	46.0%	経費を節減する	53.5%	経費を節減する	42.6%	経費を節減する	53.5%
人材を確保する	34.0%	技術力を高める	34.9%	販路を広げる	36.2%	販路を広げる	41.9%
販路を広げる	24.0%	人材を確保する	27.9%	人材を確保する	34.0%	人材を確保する	37.2%
技術力を高める		情報力を強化する	20.9%	技術力を高める	31.9%	技術力を高める	32.6%
情報力を強化する	22.0%	販路を広げる	18.6%	情報力を強化する	21.3%	情報力を強化する	



不 動 産 業

注：コメント中の（）内のD.I.値は（前々期→前期→今期）となっている。

（１）業況、売上額、収益

業況（ $\Delta 10.9 \rightarrow 5.3 \rightarrow \Delta 3.2$ ）は大きく後退し再び水面下に落込んだ。

売上額（ $\Delta 14.6 \rightarrow 0.7 \rightarrow \Delta 2.4$ ）と収益（ $\Delta 26.0 \rightarrow 4.8 \rightarrow \Delta 4.7$ ）も後退し再び減少・減益に転じた。

来期の見通しについて、業況（2.5予想）は持ち直して再びプラスに転じると見ている。売上額（ $\Delta 0.8$ 予想）は今期並の水準で推移し、収益（ $\Delta 0.2$ 予想）も減少・減益傾向が一服すると予想している。

（２）販売価格、仕入価格、在庫数量

販売価格（ $23.8 \rightarrow 7.5 \rightarrow 9.3$ ）は前期並の上昇幅で推移し、仕入価格（ $29.0 \rightarrow 23.2 \rightarrow 20.1$ ）は上昇傾向が若干弱まった。

在庫数量（ $\Delta 5.0 \rightarrow \Delta 2.2 \rightarrow 7.5$ ）は不足から過剰に大きく転じた。

来期の見通しについて、販売価格（3.5予想）は上昇幅がかなり縮小し、仕入価格（21.9予想）は今期同様の上昇が続くと見ている。在庫数量（0.9予想）は過剰感が解消され適正水準になると予想している。

（３）資金繰り、借入難易度

資金繰り（ $\Delta 10.4 \rightarrow \Delta 6.6 \rightarrow \Delta 6.8$ ）は前期同様の窮屈感が続き、借入難易度（ $\Delta 5.8 \rightarrow \Delta 11.1 \rightarrow \Delta 5.3$ ）は厳しさがかなり和らいだ。

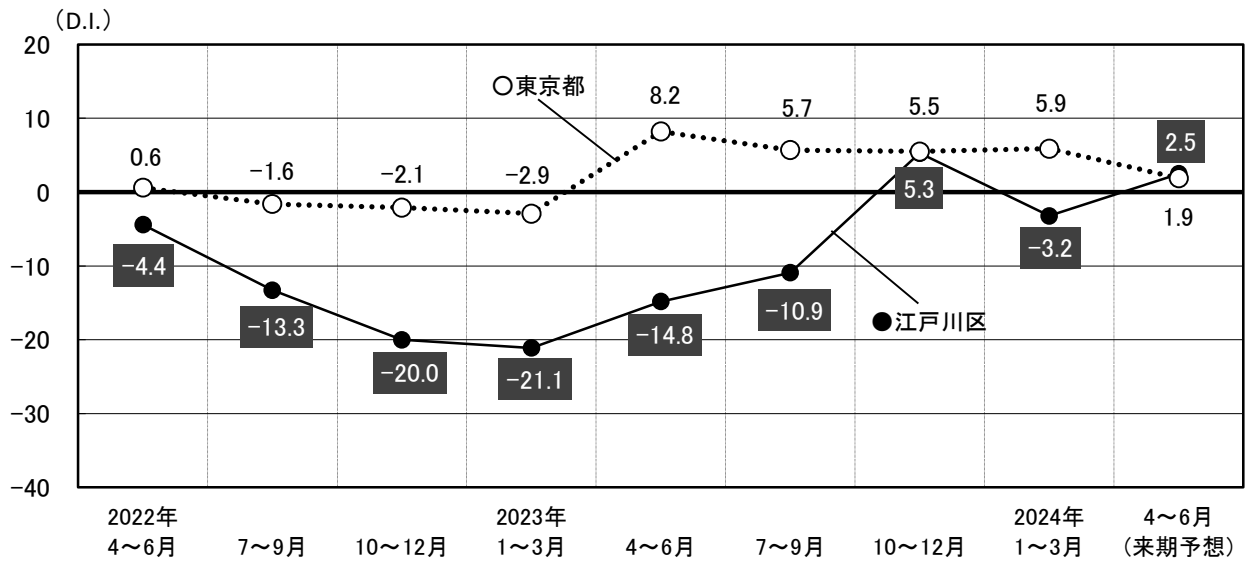
来期の見通しについて、資金繰り（ $\Delta 7.5$ 予想）は今期並の窮屈感が続くと予想している。

（４）経営上の問題点、重点経営施策

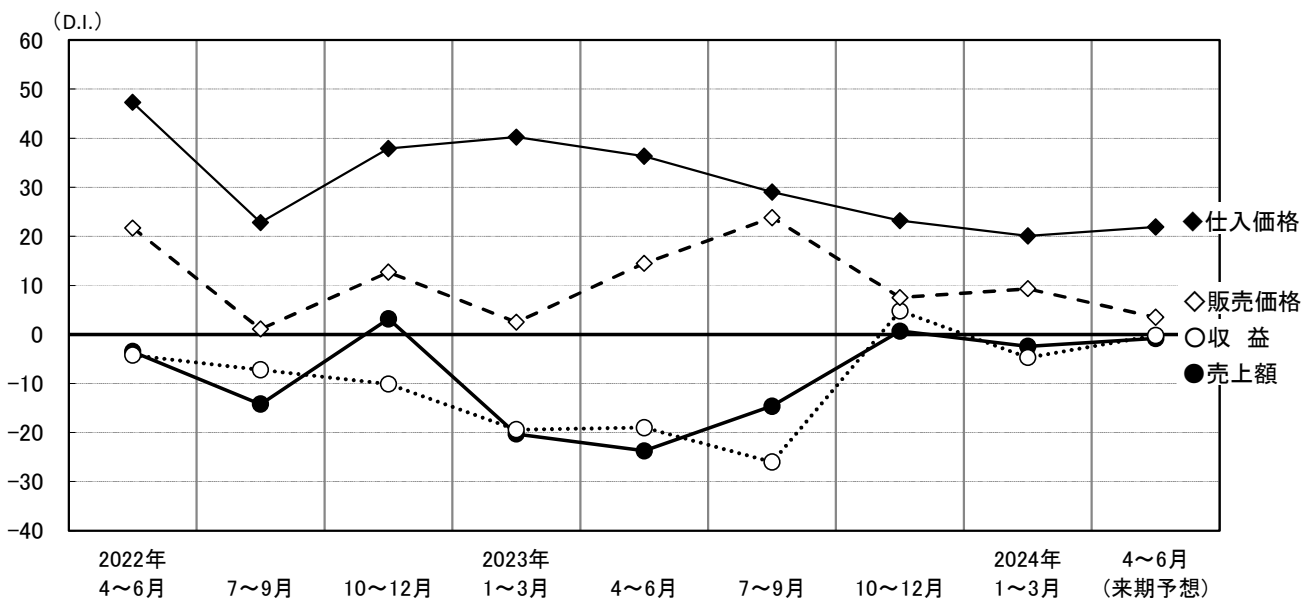
経営上の問題点は、「商品物件の高騰」（28.6%）が今期は単独で最多となった。以下、「大手企業との競争の激化」と「売上の停滞・減少」（各23.8%）、「同業者間の競争の激化」と「利幅の縮小」（各14.3%）の順であった。

重点経営施策では、「情報力を強化する」（38.1%）が今期も最多となった。以下、「宣伝・広告を強化する」（28.6%）、「販路を広げる」（23.8%）、「経費を節減する」、「新しい事業を始める」、「不動産の有効活用を図る」（各9.5%）の順であった。

【不動産業】 業況（江戸川区と東京都全体の比較）



【不動産業】 売上額、収益、販売価格、仕入価格の推移

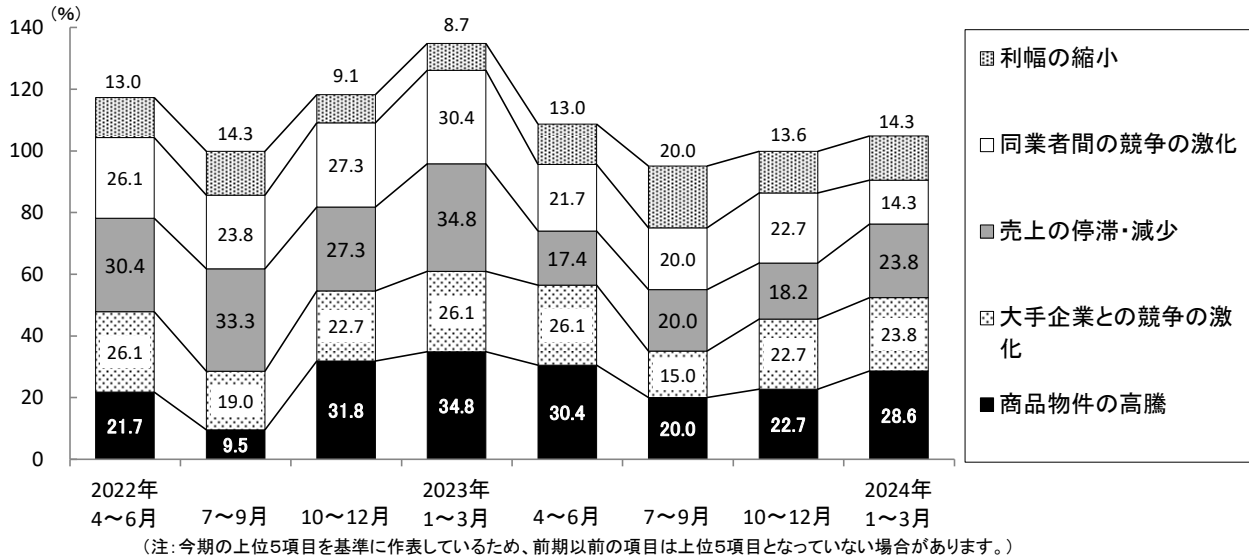


【不動産業】

経営上の問題点

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
商品物件の高騰	30.4%	商品物件の高騰	20.0%	商品物件の高騰	22.7%	商品物件の高騰	28.6%
大手企業との競争の激化	26.1%	同業者間の競争の激化		大手企業との競争の激化		23.8%	
同業者間の競争の激化	21.7%	売上の停滞・減少		売上の停滞・減少		14.3%	
売上の停滞・減少	17.4%	利幅の縮小		利幅の縮小		18.2%	
商品物件の不足	13.0%	大手企業との競争の激化 人手不足	15.0%	商品物件の不足		利幅の縮小	

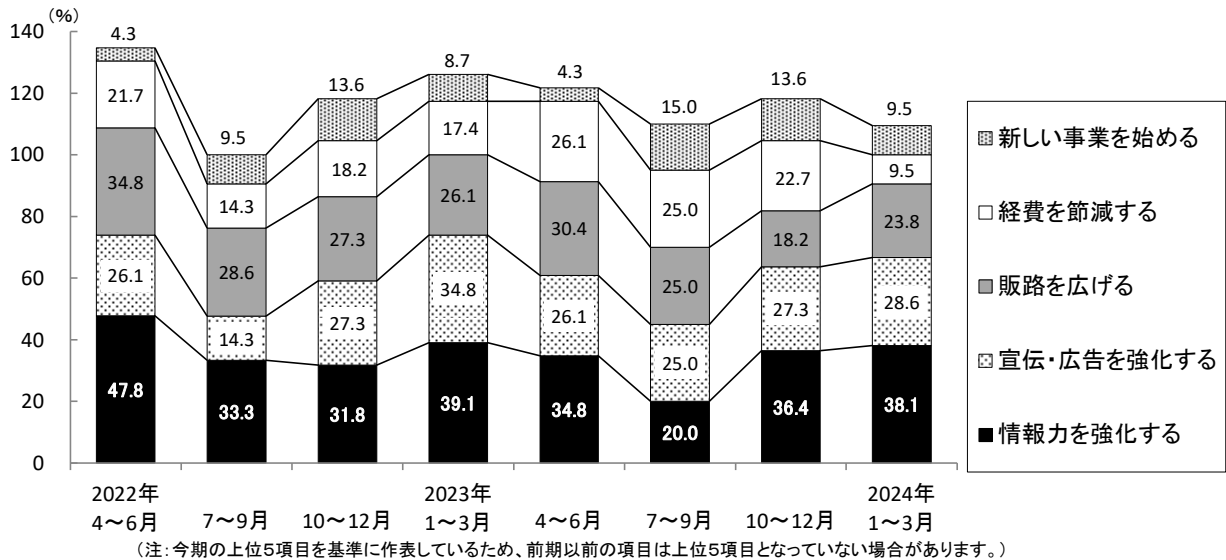


【不動産業】

重点経営施策

(複数回答)

2023年4～6月期		2023年7～9月期		2023年10～12月期		2024年1～3月期	
情報力を強化する	34.8%	販路を広げる	25.0%	情報力を強化する	36.4%	情報力を強化する	38.1%
販路を広げる	30.4%	宣伝・広告を強化する		宣伝・広告を強化する	27.3%	宣伝・広告を強化する	28.6%
宣伝・広告を強化する	26.1%	経費を節減する		経費を節減する	22.7%	販路を広げる	23.8%
経費を節減する		情報力を強化する		20.0%	販路を広げる	18.2%	経費を節減する 新しい事業を始める 不動産の有効活用を図る
提携先を見つける	8.7%	新しい事業を始める	15.0%	新しい事業を始める 不動産の有効活用を図る	13.6%		



調査員のコメント

- ・ 昨今は中国系の法人による不動産購入・賃借が増加している。(不動産業)

出典：『景況情報ガイド』都内中小企業景況調査結果 2024年1～3月期より江戸川区分を抜粋

江戸川区独自の調査から

[景況全般について]

- ・ 材料費、光熱費等の値上がりに加え、実質賃金の減少が続いており、一般消費者の節約意識が強いため、売上は新型コロナ流行前の70%程度で、非常に厳しい経営環境にある。(飲食業)
- ・ 円安の影響で材料費等が値上がりしており、今後も値上がりするよう先行きが不透明である。(建設業)
- ・ 経済の動きは感じられるが、中小企業は、人件費、稼働費、原材料費等の値上げはできない。元請け企業側の指定金額でしか取り引きできないのが現状。(サービス業)
- ・ 資材高騰で売上が落ちている。地域が、若者が、前向きになる風潮がないと、住宅にも生活費にも投資が回らない、誰に聞いても未来に懐疑的。(卸売業)
- ・ 大企業が軒並み賃上げ5%アップ、過去最高益更新とのことだが、景気がよいと思えない。政府からの補助金がいつまで続くのか、先行きが不透明な状況です。(小売業)

[受注・売上・単価・仕事量等について]

- ・ コロナが明けて催事などが復活し、徐々に売り上げは戻りつつある。(製造業)
- ・ コロナも明け、少しずつ開発の案件が増えてきている。(情報通信業)
- ・ コロナ後、売り上げは回復せず苦しい状態が続いている。(飲食業)
- ・ 年末から春先までは好調でしたが、GW連休後から売上が鈍化しております。(製造業)
- ・ 上期で見ると昨年よりもよく、下期に少し影響が出そう。(製造業)
- ・ 1月と2月は良くなかったが、3月と4月で少し巻き返した。(サービス業)
- ・ 例年に比べて仕事量が少ない。円安云々より社会保険料や税金の負担が重い。(製造業)
- ・ 人手不足が著しい。大手を中心に賃上げの動きがあるが、中小零細は収益性が低下している現状では容易に賃金を引上げることは出来ず、大半は人手確保に苦戦している。(飲食業)
- ・ 受注は好調で売り上げは前期より少し良いが、単価が合わないことが多い。(建設業)
- ・ 受注は少し伸びているが、価格競争が続いている。売上単価は伸びていない。(サービス業)
- ・ 生徒数、売上、単科値上げ、仕事量全般で今までで最高の状況です。しかし他社を見ると二極化が激しい塾業界とも言えます。(サービス業)

[経営上の課題と経営改善等に向けての取組み]

- ・ お客様に長年デフレ価格がしみ込んでいるので、少しずつ値上げしたい。価格改定しないと、賃上げができない。(建設業)
- ・ 人手は募集しているがなかなか応募が少なく、今後は外国人労働者を考えている。(建設業)
- ・ 仕入れ先の見直しやロットを大きくして仕入れ単価を抑えている。(サービス業)
- ・ ホームページの修正やセミナー等に参加し、経営改善に向けて取り組んでいます。(不動産業)
- ・ 人手不足の対策として、退職年齢を引き延ばして働いてもらっている。(建設業)
- ・ 売れ筋の品物を絞り込み、過剰在庫を減らしている。(小売業)
- ・ 新規顧客獲得のため、弊社の認知が低いので、より広く知ってもらうため、Web等の広告を拡大していく。(卸売業)
- ・ 人手不足は否めないが高齢者、特に採用年齢基準を50～60歳に上げて採用を始め、その結果、とても良い人材にご縁をいただけている。(サービス業)
- ・ 金利上昇も見込まれ、事業継承も控えているため、借入れの削減を進めている。(運輸業)
- ・ 外注に頼らず、内製化を進めることで利益増を進めている。(製造業)

江戸川区の企業倒産動向

（2024年1月～3月）

2024年1～3月期の江戸川区の倒産件数は、前期比20.0%減の20件（前期25件）、負債総額は前期比77.0%減の9億1百万円（前期39億14百万円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が4件で最も多く、次いで“卸売業”“建設業”“その他”が3件であった。負債総額は“その他”が2億99百万円で最も多く、次いで“建設業”（2億29百万円），“卸売業”（1億65百万円）となった。

江戸川区の業種別倒産動向

（単位：件・百万円）

	前年同期 2023年1～3月		前期 2023年10～12月		今期 2024年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	300	1	100	1	12
卸売業	2	163	5	677	3	165
小売業	0	0	2	60	2	56
サービス業	2	20	5	1,470	4	60
建設業	3	2,100	4	249	3	229
不動産業	0	0	2	309	1	10
情報通信業・運輸業	1	20	3	484	2	60
宿泊業、飲食サービス業	1	23	2	515	1	10
その他	0	0	1	50	3	299
合計	10	2,626	25	3,914	20	901

東京都の企業倒産動向

（2024年1月～3月）

2024年1～3月期の東京都の倒産件数は、前期比7.8%減の416件（前期451件）、負債総額は前期比66.9%減の828億円（前期2,501億円）であった。業種別にみると、件数では“サービス業”が99件で前期に続いて最も多く、次いで“卸売業”が63件であった。負債総額は“不動産業”が192億円で最も多く、以下、“卸売業”が163億円、“情報通信業・運輸業”が141億円で続いた。

1. 概況

（単位：件・百万円）

	前年同期 2023年 1～3月	前期 2023年 10～12月	今期 2024年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	件数	339	451	416	-7.8%
負債総額	103,108	250,107	82,831	-66.9%	-19.7%

2. 原因別倒産動向

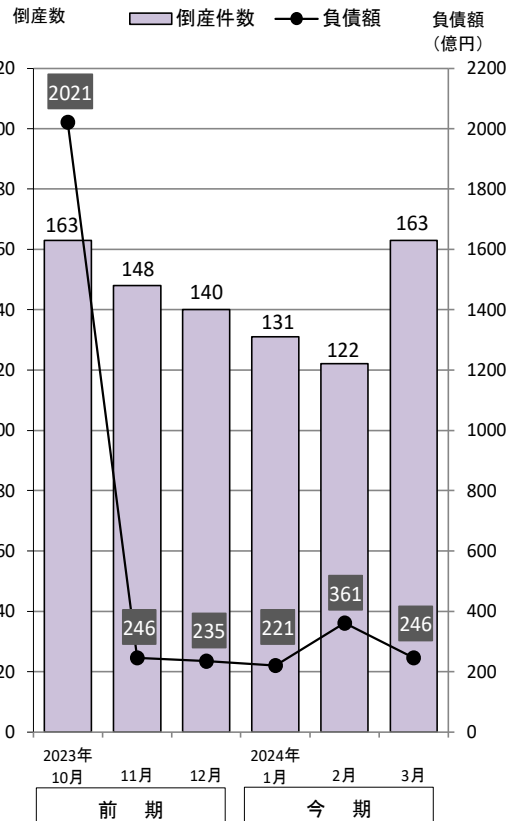
（単位：件）

	前年同期 2023年 1～3月	前期 2023年 10～12月	今期 2024年 1～3月	前期比 (伸び率)	前年同期比 (伸び率)
	販売不振	234	291	274	-5.8%
既往のしわよせ	40	49	39	-20.4%	-2.5%
売掛金等回収難 (不況型計)	2	0	1	-	-50.0%
放漫経営	26	51	46	-9.8%	76.9%
過小資本	6	4	7	75.0%	16.7%
他社倒産の余波	24	45	35	-22.2%	45.8%
信用性低下	0	1	2	100.0%	-
在庫状態悪化	0	0	0	-	-
設備投資過大	1	0	0	-	-
その他	6	10	12	20.0%	100.0%
合計	339	451	416	-7.8%	22.7%

3. 業種別倒産動向

（単位：件・百万円）

	前年同期 2023年1～3月		前期 2023年10～12月		今期 2024年1～3月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	23	39,435	28	8,060	20	5,766
卸売業	43	15,278	59	5,083	63	16,323
小売業	29	7,951	43	16,354	45	5,237
サービス業	89	10,737	115	149,320	99	10,859
建設業	38	4,487	41	40,183	49	4,499
不動産業	16	6,925	16	12,757	30	19,183
情報通信業・運輸業	51	5,321	69	5,457	47	14,054
宿泊業、飲食サービス業	29	12,032	52	8,944	32	2,695
その他	21	942	28	3,949	31	4,215
合計	339	103,108	451	250,107	416	82,831



特別調査 「中小企業における人材戦略について」

(2024年3月上旬調査)

注1. 以下に示す割合は区内の中小企業(全6業種=338事業所)の回答を集計したものです。

注2. 割合については小数点2位を四捨五入しているため、単数回答における割合の合計は100.0%にならないことがあります。

注3. 選択肢の表記が『…』となっているものは、幾つかの選択肢を合わせているものです。

本調査結果の特徴	① 人材状況について懸念していること	「高齢化が進んでいる」 48.9% 「若手が不足している」 38.4% 「懸念していることはない」 20.5%
	② 今後の人材確保に向けた対応策	「中途採用の強化」 27.4% 「新卒採用の強化」 14.9% 「特に対応策を検討していない」 49.1%
	③ 職場内で実施している人材育成実施訓練(OJT)以外の取組み	「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」 15.2% 「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」 13.1% 「実施していない」 69.3%
	④ 2024年中の賃金引上げ実施状況(予定を含む)	『引上げ』 36.6% (うち「0%以上2%未満」19.9%) 『引上げない』 63.4% ・「今後の業績見通しが不透明」 16.0% ・「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」 12.1% ・「自社に従業員はいない(家族経営など)」 19.6%
	⑤ 「2024年問題」の影響と対応状況	【影響】「影響はない・わからない」 73.9% 『悪影響がある』 22.0% 『好影響がある』 3.4% 【対応】「対応を取る必要はない」 59.2% 「必要性は感じているが対応していない」 31.0%

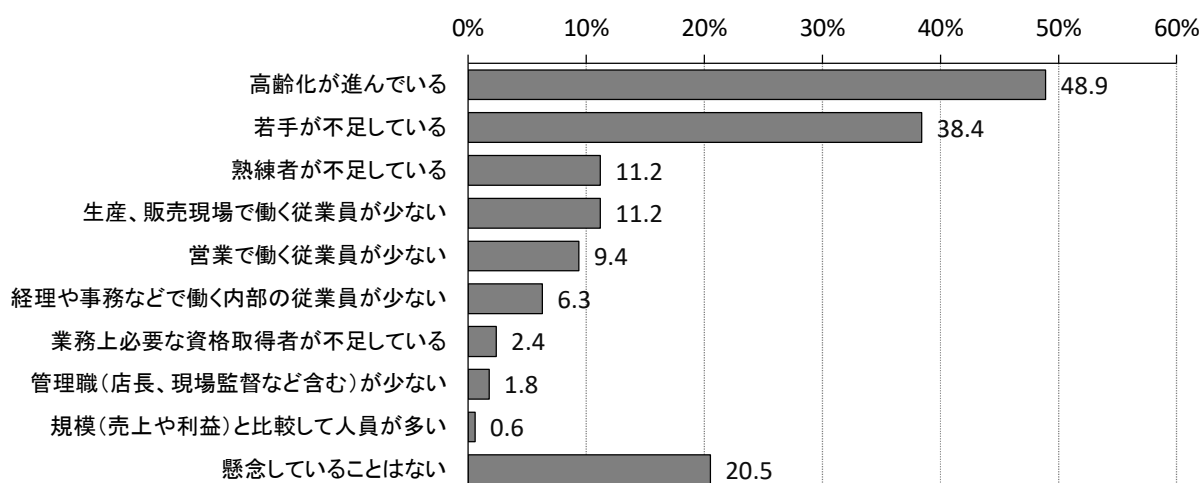
※「2024年問題」とは、ドライバーなど自動車運転業、建設業、医師の就業において、2024年4月より残業時間の上限規制が適用されることによって生じる問題の総称です。

問1. 人材状況について懸念していること(3A)

自社における現在の人材状況で懸念していることについて、最大3つまでうかがったところ、「高齢化が進んでいる」が48.9%で最も多かった。次いで、「若手が不足している」(38.4%)、「熟練者が不足している」と「生産、販売現場で働く従業員が少ない」(各11.2%)などであった。一方、「懸念していることはない」は20.5%であった。

業種別に見ると、「高齢化が進んでいる」は“卸売業”(52.6%)、“小売業”(51.7%)、“製造業”(51.4%)で5割強と高く、「若手が不足している」は“建設業”が55.8%で最も高い割合であった。一方、「懸念していることはない」は“不動産業”(45.0%)が最も高く、次いで“サービス業”(31.1%)であった。

図表1 人材状況について懸念していること

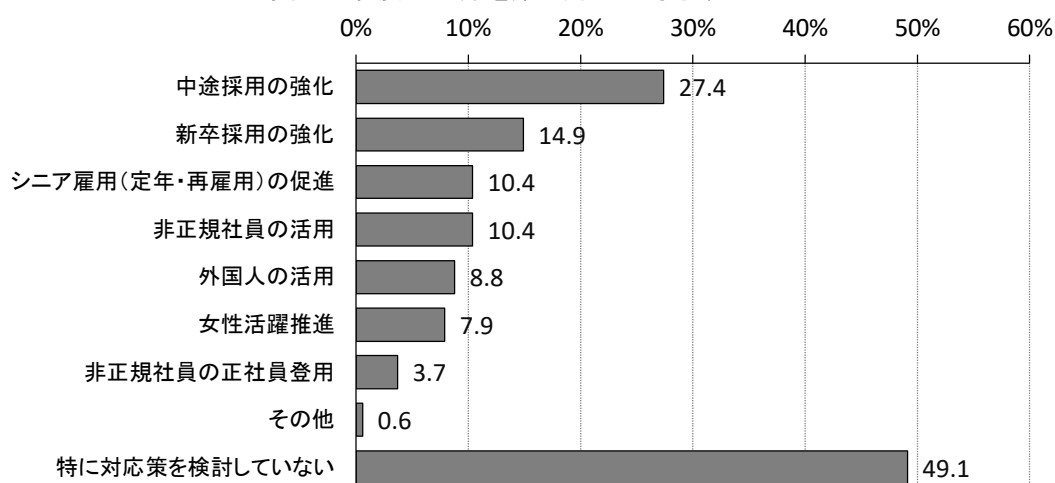


問2. 今後の人材確保に向けた対応策（3A）

今後の自社の人材確保に向けた対応策について、最大3つまでうかがったところ、「中途採用の強化」が27.4%で対応策としては最も多かった。次いで、「新卒採用の強化」(14.9%)、「シニア雇用(定年・再雇用)の促進」と「非正規社員の活用」(各10.4%)、「外国人の活用」(8.8%)、「女性活躍推進」(7.9%)などであった。一方、「特に対応策を検討していない」が49.1%で最も多かった。

業種別に見ると、「中途採用の強化」は“卸売業”が42.1%で最も高く、次いで“建設業”(39.5%)となっており、「新卒採用の強化」は“サービス業”が20.0%で最も高く、「外国人の活用」は“建設業”が18.6%で最も高い割合であった。一方、「特に対応策を検討していない」は“小売業”(66.7%)が最も高く、次いで“サービス業”(55.6%)であった。

表2 今後の人材確保に向けた対応策

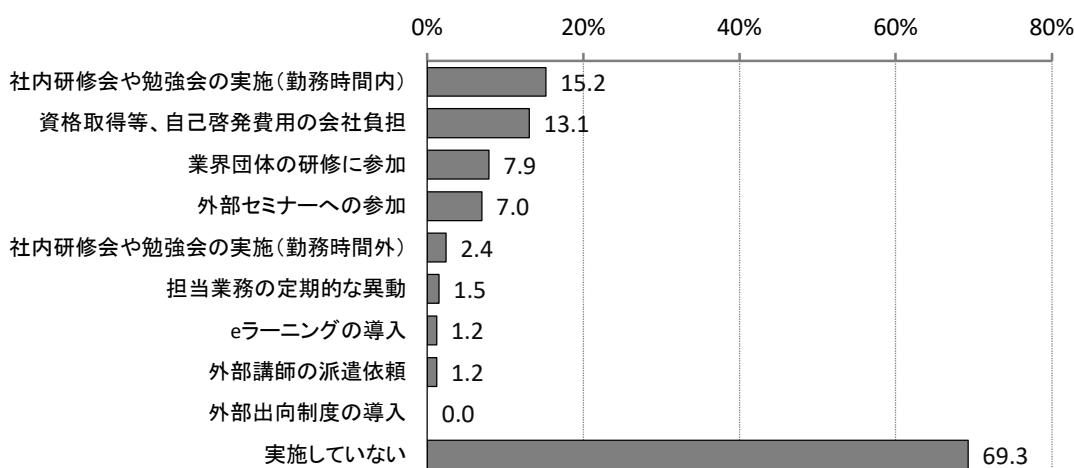


問3. 職場内で実施している人材育成実施訓練（OJT）以外の取組み（3A）

また、人材育成において、職場内での実施の訓練(OJT)以外の取組みを実施しているかについて最大3つまで伺った。その結果、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」が15.2%で実施している取組みとしては最も多かった。次いで、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」(13.1%)、「業界団体の研修に参加」(7.9%)、「外部セミナーへの参加」(7.0%)などであった。一方、「実施していない」が69.3%を占めている。

業種別に見ると、「社内研修会や勉強会の実施(勤務時間内)」は“建設業”が28.6%で最も高く、次いで“サービス業”(22.2%)となっている。また、「資格取得等、自己啓発費用の会社負担」でも“建設業”が35.7%で最も高く、次いで“不動産業”(30.0%)であった。一方、「実施していない」は“小売業”が86.7%で最も高く、次いで“卸売業”(78.9%)であった。

表3 職場内で実施している人材育成実施訓練（OJT）以外の取組み

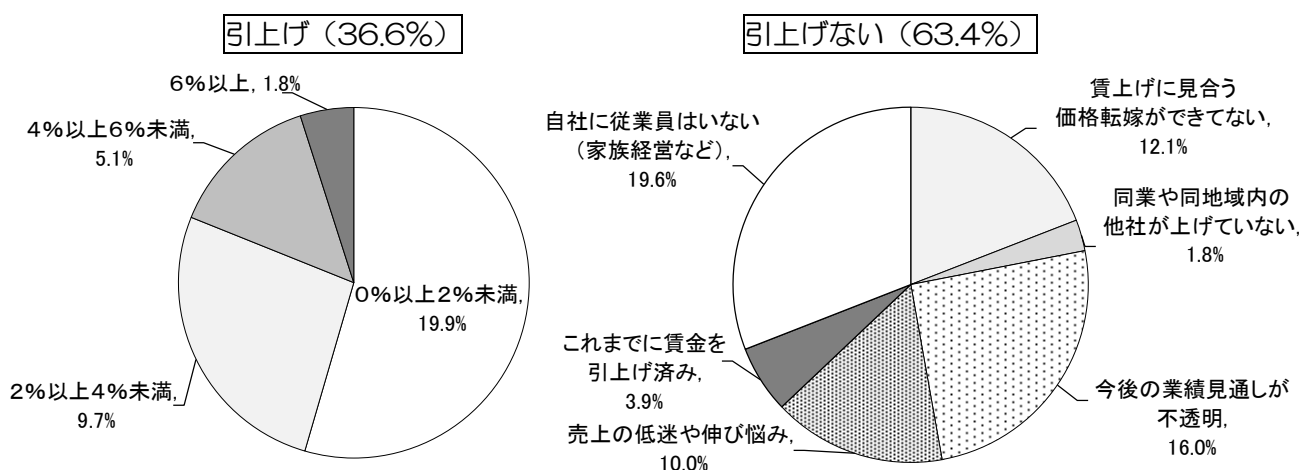


問4. 2024年中の賃金引上げ実施状況（予定を含む）

自社の人材定着などに向けて、2024年中に賃金（定期昇給、賞与や一時金を除く）の引上げ実施状況（実施予定を含む）についてうかがったところ、『引上げ』が36.6%で『引上げない』の63.4%を大幅に下回った。『引上げ』の内訳としては、「0%以上2%未満」（19.9%）と「2%以上4%未満」（9.7%）を合わせた『4%未満』は『引上げ』の8割を占めている。一方、『引上げない』の内訳としては、「自社に従業員はいない（家族経営など）」（19.6%）、「今後の業績見通しが不透明」（16.0%）、「賃上げに見合う価格転嫁ができてない」（12.1%）などとなっている。

業種別に見ると、『引上げ』は“建設業”（47.6%）と“卸売業”（47.4%）が4割台後半で高い割合であった。一方、『引上げない』は“小売業”が72.9%で最も高く、次いで“製造業”（65.5%）であった。

表4 2024年中の賃金引上げ実施状況（予定を含む）



※2つのグラフの割合の総合計は、四捨五入により100%にならない場合があります。

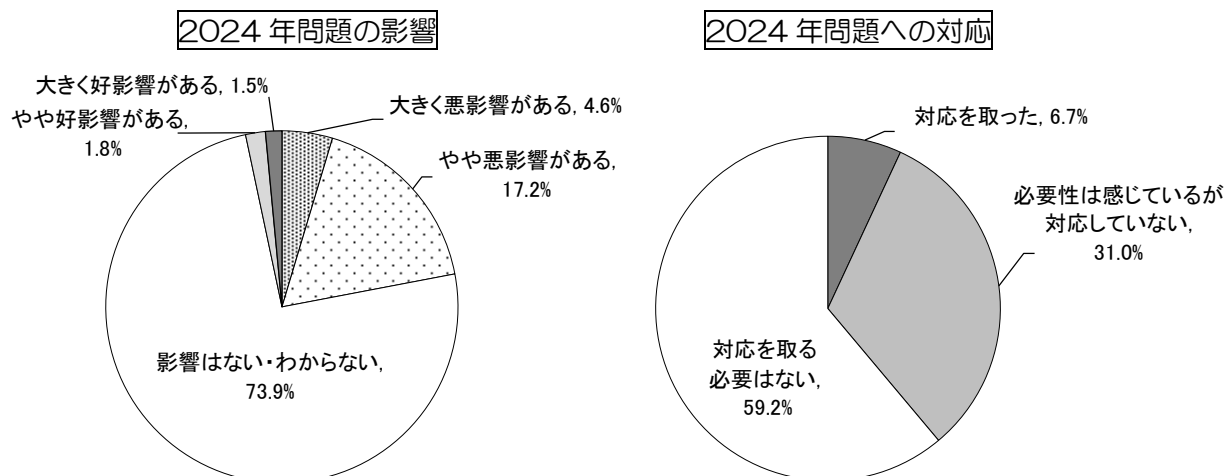
問5. 「2024年問題」の影響と対応状況

最後に「2024年問題」（建設業、自動車運転業、医師などでの残業時間の上限制限が2024年4月から開始される）が自社業務に及ぼす影響と今後の対応についてうかがった。その結果、『悪影響がある』が22.0%で、「影響はない・わからない」が73.9%と最も高く、『好影響がある』はわずかに3.4%であった。

また、対応策としては、「対応を取った」は6.7%で、「必要性は感じているが対応していない」が31.0%、「対応を取る必要はない」が59.2%であった。

業種別で見ると、『悪影響がある』は“建設業”が38.1%で他の業種に比べて特に高い割合であり、また、対応状況として「対応を取った」（21.4%）と「必要性は感じているが対応していない」（38.1%）も他の業種に比べて特に高い割合であった。

表5 「2024年問題」の影響と対応状況



※各々のグラフにおける割合の合計は、四捨五入により100%にならない場合があります。

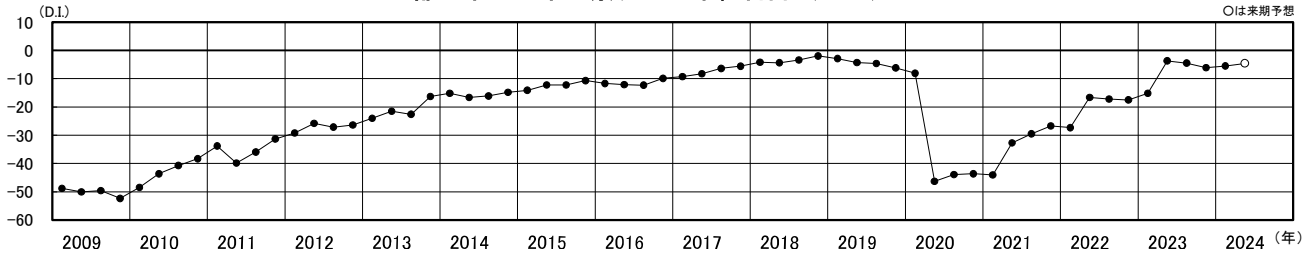
問5 「2024年問題」の影響と対応状況										
	回答数	影 響					対 応			
		大きく悪影響がある	やや悪影響がある	影響はない・わからない	やや好影響がある	大きく好影響がある	対応を取った	必要性は感じていないが対応	対応を取る必要はない	
全業種	326	4.6	17.2	73.9	1.8	1.5	6.7	31.0	59.2	
製造業	140	4.3	17.9	75.0	-	2.9	1.4	35.0	60.7	
従業者規模	1人~4人	73	2.7	16.4	79.5	-	1.4	-	27.4	71.2
	5人~19人	54	7.4	22.2	66.7	-	3.7	1.9	46.3	48.1
	20人~49人	8	-	12.5	75.0	-	12.5	12.5	37.5	50.0
	50人~99人	4	-	-	100.0	-	-	-	25.0	50.0
	100人~300人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
業況	良い	16	-	25.0	75.0	-	-	-	50.0	50.0
	普通	89	-	18.0	79.8	-	2.2	1.1	30.3	65.2
	悪い	35	17.1	14.3	62.9	-	5.7	2.9	40.0	54.3
卸売業	19	-	10.5	89.5	-	-	5.3	26.3	63.2	
従業者規模	1人~4人	11	-	9.1	90.9	-	-	-	27.3	63.6
	5人~19人	5	-	20.0	80.0	-	-	-	20.0	80.0
	20人~49人	3	-	-	100.0	-	-	33.3	33.3	33.3
	50人~99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	良い	6	-	-	100.0	-	-	16.7	-	83.3
	普通	6	-	16.7	83.3	-	-	-	33.3	66.7
	悪い	6	-	-	100.0	-	-	-	33.3	50.0
小売業	58	-	15.5	72.4	5.2	1.7	3.4	25.9	65.5	
従業者規模	1人~4人	44	-	9.1	79.5	2.3	2.3	-	18.2	77.3
	5人~19人	12	-	25.0	58.3	16.7	-	16.7	41.7	33.3
	20人~49人	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	50人~99人	1	-	100.0	-	-	-	-	100.0	-
	100人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	良い	3	-	-	66.7	-	-	-	-	100.0
	普通	37	-	16.2	73.0	2.7	2.7	5.4	18.9	67.6
	悪い	18	-	16.7	72.2	11.1	-	-	44.4	55.6
サービス業	46	4.3	10.9	82.6	2.2	-	13.0	21.7	63.0	
従業者規模	1人~4人	25	-	4.0	96.0	-	-	4.0	20.0	76.0
	5人~19人	12	8.3	25.0	66.7	-	-	16.7	33.3	50.0
	20人~49人	5	-	20.0	80.0	-	-	20.0	20.0	40.0
	50人~99人	2	-	-	50.0	50.0	-	50.0	-	50.0
	100人~300人	2	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	50.0
業況	良い	7	28.6	28.6	28.6	14.3	-	71.4	28.6	-
	普通	32	-	3.1	96.9	-	-	3.1	15.6	78.1
	悪い	7	-	28.6	71.4	-	-	-	42.9	57.1
建設業	42	16.7	21.4	57.1	4.8	-	21.4	38.1	38.1	
従業者規模	1人~4人	15	20.0	20.0	60.0	-	-	6.7	53.3	40.0
	5人~19人	20	15.0	20.0	60.0	5.0	-	25.0	25.0	45.0
	20人~49人	6	16.7	33.3	33.3	16.7	-	50.0	50.0	-
	50人~99人	1	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
	100人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	良い	9	44.4	11.1	44.4	-	-	33.3	33.3	22.2
	普通	25	8.0	24.0	60.0	8.0	-	16.0	40.0	44.0
	悪い	8	12.5	25.0	62.5	-	-	25.0	37.5	37.5
不動産業	21	-	28.6	71.4	-	-	9.5	28.6	61.9	
従業者規模	1人~4人	16	-	31.3	68.8	-	-	12.5	25.0	62.5
	5人~19人	5	-	20.0	80.0	-	-	-	40.0	60.0
	20人~49人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	50人~99人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	100人~300人	0	-	-	-	-	-	-	-	-
業況	良い	3	-	33.3	66.7	-	-	33.3	-	66.7
	普通	14	-	21.4	78.6	-	-	7.1	28.6	64.3
	悪い	4	-	50.0	50.0	-	-	-	50.0	50.0

東京都全体の中小企業の景況

(2024年1月～3月期)

業況は前期同様の厳しさを推移、足踏み状態続く

都内中小企業の景況・6業種合計 (D.I.)



今季の6業種合計の業況判断DIは、△5.5(前期△6.1)と前期同様の厳しさを推移し、足踏み状態が続いた。

業種別で見ると、業況は建設業においてわずかに好感感が強まったものの、その他の業種は前期同様の水準で推移した。

来期は、製造業・卸売業においては水面下ながらわずかに改善し、建設業は今期並の好感感が続くものの、不動産業は好感感が後退し、小売業・サービス業は今期同様の厳しさが続くこと予想している。

	前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製造業	-9.0	-9.1	-0.1	-6.9	2.2
卸売業	-9.1	-8.7	0.4	-6.4	2.3
小売業	-15.0	-14.4	0.6	-13.3	1.1
サービス業	-5.8	-6.3	-0.5	-4.8	1.5
建設業	8.1	10.5	2.4	10.4	-0.1
不動産業	5.5	5.9	0.4	1.9	-4.0
総合	-6.1	-5.5	0.6	-4.6	0.9

※前期 (2023年10～12月) 来期 (2024年4～6月)

<製造業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は増減なく推移し、受注残・収益は前期並の減少が続いた。業種別では、紙・紙加工品、印刷関連において、水面下ながら大きな改善が見られた。価格面では、販売価格、原材料価格ともに前期並の上昇が続いた。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「原材料高」(40%)、「売上の停滞・減少」(35%)、「人手不足」(17%)が上位を占めた。重点経営施策も前期同様に「販路を広げる」(53%)、「経費を節減する」(44%)、「人材を確保する」(18%)の順となった。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増減なく推移し、受注残、収益は今期並の減少が続くと見ている。価格面では販売価格、原材料価格ともに上昇が弱まると予想している。

<卸売業>

業況は前期並の悪化幅で推移した。売上額はわずかに増加に転じ、収益は前期同様の減少幅で推移した。業種別に見ると化学製品、家具・建具が大幅に上向いた。価格面では販売価格はわずかに上昇が弱まり、仕入価格は前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「売上の停滞・減少」(37%)、2位に「仕入先からの値上げ要請」(25%)が上昇し、3位「利幅の縮小」(23%)の順となった。重点経営施策は「販路を広げる」(59%)、「経費を節減する」(41%)、3位に「人材を確保する」が上昇し、「情報力を強化する」と同率の17%となった。

来期の業況は水面下ながらわずかに改善すると予想している。売上額は増加傾向を強め、収益はわずかに改善すると見ている。価格面では販売価格・仕入価格ともに上昇が弱まると予想している。

<小売業>

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額は前期並の減少が続いたものの、収益はわずかに持ち直した。業種別で見ると飲食店が大幅に持ち直し、繊維・衣服・身の回り品は水面下ながらわずかに改善した。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期並の苦しさで、在庫は適正水準で続いている。

経営上の問題点の上位項目は「材料価格の上昇」(33%)、「仕入先からの値上げ要請」(21%)、3位に「利幅の縮小」が上昇し、「同業者間の競争の激化」と同率の19%となった。重点経営施策については前期同様に「経費を節減する」(45%)、「品揃えを改善する」(26%)、「宣伝・広告を強化する」(20%)の順となった。

来期の業況は今期並の厳しさが続くこと予想している。売上額、収益も今期並の減少が続くと予想している。価格面では販売価格、仕入価格ともにわずかに上昇を弱めると予想している。

<サービス業>

業況は前期同様の厳しさが続いたものの、売上額はやや増加傾向を強め、収益もわずかに改善した。業種別では、洗濯・理容・美容が水面下ながら改善した。価格面では料金価格、材料価格ともに前期並の上昇が続き、資金繰りも前期並の苦しさが続いている。

経営上の問題点の上位項目は1位に「人手不足」(30%)が上昇し、2位の「売上の停滞・減少」(28%)と入れ替わり、3位「材料価格の上昇」(25%)と続いている。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」(41%)、「販路を広げる」(38%)、「人材を確保する」(26%)が上位を占めた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くこと見ており、売上額は今期並の水準が続き、収益は今期並の減少が続くと予想している。価格面では料金価格は今期並の上昇が続き、材料価格はわずかに上昇を弱めると見ている。

<建設業>

業況はわずかに好感感が強まった。売上額、受注残、施工高は前期同様の増加が続き、収益はわずかに増加に転じた。業種別では大企業請負、官公庁請負において好感感が強まった。価格面では請負価格はわずかに上昇傾向を強め、材料価格は前期並の上昇が続いている。資金繰りは前期同様変わらず、在庫は適正水準が続いている。

経営上の問題点の上位項目は「材料価格の上昇」(54%)、「人手不足」(42%)、3位に「同業者間の競争の激化」(20%)が上昇した。重点経営施策は前期同様に「経費を節減する」(43%)、「人材を確保する」(42%)、「販路を広げる」(36%)と続いている。

来期の業況は今期並の好感感が続くこと予想している。売上額、受注残、施工高は今期同様の増加が続き、収益は増減なく推移すると見ている。価格面では請負価格はわずかに上昇を弱め、材料価格も上昇幅が縮小すると予想している。

<不動産業>

業況は前期並の好感感が続いた。売上額と収益はわずかに増加傾向を強めた。業種別では建売・土地売買がわずかに上向いた。価格面では販売価格、仕入価格ともに前期並の上昇が続いている。

経営上の問題点の上位項目は前期同様に「商品物件の高騰」(34%)、「商品物件の不足」(27%)、「同業者間の競争の激化」(26%)と続いている。重点経営施策は「情報力を強化する」(39%)、「販路を広げる」(30%)、「経費を節減する」(26%)の順となった。

来期の業況はわずかに好感感が後退すると予想している。売上額、収益は増加傾向が一服すると見ている。価格面では販売価格、仕入価格ともに上昇を弱めると予想している。

(一般社団法人 東京都信用金庫協会調べ)

江戸川区と東京都全体の比較表

(2024年1月～3月期)

製造業

【今期実績の比較】

	全体		食料品		一般、金型、電気、輸送、精密機械器具		金属製品、建設用金属製品		パルプ・紙・紙加工品、出版業、印刷業、製版業、製本業		パルプ・紙、印刷、製本業		木材・木製品、家具・装備品		繊維工業、衣服・その他繊維製品		プラスチック製品	
	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況	-14	-9	-22	2	-25	-4	-12	-7	-13	-18	-13	-16	-6	-12	-21	-16	-9	-14
売上額	-12	-2	-22	21	-8	1	-17	0	-19	-7	-19	-6	-19	0	2	-5	-12	-9
受注残	-15	-4	-8	12	-16	1	-19	-2	-20	-9	-20	-9	-11	0	-7	-3	-23	-10
収益	-17	-6	-33	4	-11	-1	-16	-3	-17	-11	-17	-9	-4	-4	-13	-15	-33	-12
販売価格	5	20	21	31	0	24	0	20	2	15	2	15	3	15	3	9	19	24
原材料価格	30	44	60	56	38	50	31	43	8	39	8	37	28	39	19	31	43	46
原材料在庫	0	2	1	-1	5	2	-1	5	-6	3	-6	2	6	0	-2	6	-3	1
資金繰り	-9	-10	-21	-9	-11	-6	-8	-4	-11	-15	-10	-15	-1	-11	-3	-9	3	-13
雇用																		
残業時間	-5	-1	0	-5	0	-2	-13	2	-21	-1	-21	0	8	-1	10	5	6	-1
人手	-12	-14	11	-16	-5	-15	-13	-10	-16	-10	-16	-10	-31	-18	-10	-13	-6	-20
同期比																		
売上額	-8	3	0	23	-5	6	-17	4	-11	-5	-11	-4	8	6	-10	1	13	-2
収益	-12	-5	0	5	-20	-2	-17	-2	-11	-12	-11	-11	8	4	-10	-9	-13	-10
経営上の問題点																		
① 原材料高	38	40	89	67	45	41	42	37	21	34	21	34	23	41	30	32	50	45
② 売上の停滞・減少	35	35	33	23	20	31	50	37	42	44	42	44	46	40	40	31	19	35
③ 利幅の縮小	19	16	22	20	25	14	21	19	5	17	5	16	23	14	20	17	19	16
④ 人手不足	16	17	-	17	20	21	17	13	21	15	21	15	15	25	10	17	13	17
⑤ 同業者間の競争の激化	15	16	-	6	20	18	17	14	21	22	21	23	-	16	30	18	13	19
重点経営施策																		
① 販路を広げる	51	53	67	55	65	52	33	52	63	58	63	56	54	53	70	53	38	49
② 経費を節減する	37	44	33	54	30	41	38	43	26	46	26	46	54	48	50	42	31	45
③ 人材を確保する	18	18	11	17	25	22	25	15	26	13	26	13	15	22	-	17	6	16
④ 情報力を強化する	11	11	-	5	5	12	8	9	16	11	16	10	8	15	10	12	6	10
⑤ 新製品・技術を開発する	9	10	11	16	10	10	4	7	5	10	5	7	-	7	-	6	19	12
借入の難易度	-8	-3	0	-4	0	4	-4	2	-22	-8	-22	-8	8	-3	-44	-9	-7	-13

【来期見通しの比較】

業況	-12	-7	-11	7	-23	-2	-16	-8	-11	-18	-11	-18	2	-1	-23	-15	2	-10
売上額	-5	-1	-3	19	3	3	-19	-3	-24	-7	-24	-7	13	6	4	-4	10	-4
受注残	-10	-2	-1	13	-9	3	-24	-6	-20	-8	-21	-8	17	5	3	-3	-6	-7
収益	-13	-5	-3	4	-2	-2	-24	-7	-18	-10	-18	-9	15	3	-1	-9	-26	-7
販売価格	3	16	7	25	-3	19	-1	16	-2	13	-2	12	17	21	5	15	21	19
原材料価格	26	37	49	52	36	42	27	34	-1	32	-1	31	29	38	19	33	42	42
原材料在庫	-1	2	1	-2	2	3	5	6	-4	2	-4	1	5	3	-13	3	-2	0
資金繰り	-8	-9	-21	-12	-12	-6	-10	-4	-8	-14	-8	-15	7	-6	1	-6	8	-11
雇用																		
残業時間	-4	-1	0	0	-11	0	-13	0	-5	-3	-5	-2	8	-1	11	4	6	0
人手	-11	-14	11	-16	0	-15	-9	-10	-16	-11	-16	-11	-25	-13	-11	-12	-6	-21

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。業況、売上額、受注残、収益、販売価格、原材料価格、原材料在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

卸売業

【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		2	-9
売上額		-16	1
収益		-14	-7
販売価格		19	32
仕入価格		15	49
在庫		11	7
資金繰り		-1	-9
雇用	残業時間	-5	-2
	人手	-21	-14
同期比	売上額	-11	7
	収益	-16	-4
		21	38
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	42	37
	② 同業者間の競争の激化	26	22
	③ 取引先の減少	21	7
	④ 仕入先からの値上げ要請	21	25
	⑤ 人手不足	21	16
重点経営施策	① 販路を広げる	53	59
	② 人材を確保する	32	17
	③ 経費を節減する	32	41
	④ 提携先を見つける	16	6
	⑤ 品揃えを充実する	16	11
借入の難易度		7	-1

小売業

【今期実績の比較】

		全 体		家具・じゅう器、家電・家庭用機械		飲食品		衣服、呉服、身の回り品	
		江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都	江戸川区	全都
業況		-23	-14	-10	-17	-30	-14	-29	-28
売上額		-22	-3	-13	-11	-24	-4	-13	-13
収益		-24	-12	-25	-20	-23	-13	-29	-23
販売価格		12	25	22	20	22	29	-4	18
仕入価格		23	42	39	37	28	45	-5	32
在庫		-3	2	-4	-6	9	2	-31	4
資金繰り		-19	-13	-11	-11	-32	-13	-32	-23
雇用	残業時間	-12	-1	-13	-3	-13	-3	-17	-3
	人手	-5	-12	-13	-12	9	-13	0	-8
同期比	売上額	-16	4	-13	-3	-22	1	-17	-12
	収益	-22	-8	-13	-13	-32	-9	-33	-22
		15	30	0	25	32	36	0	22
経営上の問題点	① 売上の停滞・減少	41	33	25	34	57	33	50	42
	② 利幅の縮小	23	19	13	12	35	23	-	14
	③ 同業者間の競争の激化	18	19	-	16	17	17	50	17
	④ 商店街の集客力の低下	13	12	25	12	26	13	-	17
	⑤ 大型店との競争の激化	13	17	13	24	9	18	17	15
重点経営施策	① 経費を節減する	36	45	25	35	61	49	33	33
	② 宣伝・広告を強化する	26	20	25	14	30	19	50	21
	③ 品揃えを改善する	25	26	25	24	30	28	33	35
	④ 商店街事業を活性化させる	12	12	25	15	17	13	-	17
	⑤ 仕入先を開拓・選別する	7	10	-	7	9	12	-	9
借入の難易度		-8	-6	0	-2	-25	-7	-25	-12

【来期見通しの比較】

業況		-24	-6
売上額		-30	5
収益		-27	-3
販売価格		20	27
仕入価格		17	42
在庫		0	3
資金繰り		-5	-8
雇用	残業時間	-16	-2
	人手	-26	-13

【来期見通しの比較】

業況		-15	-13	8	-16	-22	-16	-34	-27
売上額		-13	-3	23	-12	-21	-5	-15	-11
収益		-18	-10	11	-19	-26	-11	-31	-20
販売価格		11	21	10	16	21	26	-3	16
仕入価格		24	36	23	31	39	40	-4	30
在庫		-2	1	-4	-4	7	2	-30	4
資金繰り		-18	-12	-9	-11	-25	-12	-31	-19
雇用	残業時間	-8	0	-13	-4	-9	-2	-17	-3
	人手	-3	-12	-13	-12	9	-12	0	-6

* 季節変動調整済D・を表示している項目。業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D・を表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

サービス業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		4	-6
売上額		9	5
収益		3	-3
料金価格		19	18
材料価格		40	38
資金繰り		0	-8
雇用	残業時間	-2	1
	人手	-19	-25
同期比	売上額	9	12
	収益	-4	2
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	34	25
	② 売上の停滞・減少	32	28
	③ 同業者間の競争の激化	23	22
	④ 人手不足	23	30
	⑤ 利幅の縮小	21	13
重点経営施策	① 経費を節減する	36	41
	② 販路を広げる	32	38
	③ 宣伝・広告を強化する	26	15
	④ 人材を確保する	21	26
	⑤ 労働条件を改善する	11	6
借入の難易度		0	-3

建設業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		4	11
売上額		-4	11
受注残		-4	10
施工高		9	14
収益		-6	1
請負価格		10	25
材料価格		59	57
在庫		-2	1
資金繰り		-4	-2
雇用	残業時間	-2	0
	人手	-35	-35
同期比	売上額	14	15
	収益	-5	3
経営上の問題点	① 材料価格の上昇	47	54
	② 人手不足	44	42
	③ 同業者間の競争の激化	28	20
	④ 利幅の縮小	21	15
	⑤ 売上の停滞・減少	21	19
重点経営施策	① 経費を節減する	54	43
	② 販路を広げる	42	36
	③ 人材を確保する	37	42
	④ 技術力を高める	33	17
	⑤ 情報力を強化する	33	15
借入の難易度		-14	0

不動産業
【今期実績の比較】

		全 体	
		江戸川区	全都
業況		-3	6
売上額		-2	8
収益		-5	6
販売価格		9	22
仕入価格		20	32
在庫		8	-12
資金繰り		-7	1
雇用	残業時間	-5	0
	人手	0	-10
同期比	売上額	-10	11
	収益	-10	5
経営上の問題点	① 商品物件の高騰	29	34
	② 大手企業との競争の激化	24	12
	③ 売上の停滞・減少	24	16
	④ 利幅の縮小	14	15
	⑤ 同業者間の競争の激化	14	26
重点経営施策	① 情報力を強化する	38	39
	② 宣伝・広告を強化する	29	20
	③ 販路を広げる	24	30
	④ 不動産の有効活用を図る	10	12
	⑤ 新しい事業を始める	10	3
借入の難易度		-5	2

【来期見通しの比較】

業況		-1	-5
売上額		2	3
収益		-8	-4
料金価格		17	16
材料価格		34	35
資金繰り		-2	-8
雇用	残業時間	-11	0
	人手	-17	-27

【来期見通しの比較】

業況		-8	10
売上額		-2	11
受注残		3	11
施工高		5	12
収益		-15	2
請負価格		9	22
材料価格		54	51
在庫		-1	-1
資金繰り		-2	-3
雇用	残業時間	-7	-1
	人手	-29	-35

【来期見通しの比較】

業況		3	2
売上額		-1	4
収益		0	3
販売価格		4	17
仕入価格		22	27
在庫		1	-13
資金繰り		-8	0
雇用	残業時間	0	0
	人手	0	-10

* 季節変動調整済D-Iを表示している項目。

【サービス業】:業況、売上額、収益、料金価格、材料価格、資金繰り

【建設業】:業況、売上額、受注残、施工高、収益、請負価格、材料価格、在庫、資金繰り

【不動産業】:業況、売上額、収益、販売価格、仕入価格、在庫、資金繰り

* 単純D-Iを表示している項目。雇用面、同期比、借入の難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

江戸川区の業種別転記表

(2024年1月～3月期)

製造業

転記表 No.1

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	6.5	5.2	10.6	6.1	11.3	10.9	13.3	12.4	12.8	11.0	13.3	11.7	13.4	9.6	11.6	10.8		12.1
	普 通	51.6	54.5	53.6	55.4	56.9	55.8	57.4	57.3	56.1	62.3	67.1	63.5	63.4	70.4	63.9	63.3		63.1
	悪 い	41.9	40.3	35.8	38.5	31.8	33.3	29.3	30.3	31.1	26.7	19.6	24.8	23.2	20.0	24.5	25.9		24.8
	D・I	-35.4	-35.1	-25.2	-32.4	-20.5	-22.4	-16.0	-17.9	-18.3	-15.7	-6.3	-13.1	-9.8	-10.4	-12.9	-15.1		-12.7
	修正値	-30.8	-33.8	-24.2	-27.1	-21.8	-22.8	-17.3	-21.1	-13.4	-15.3	-8.0	-7.7	-11.7	-11.2	-13.5	-17.7	-1.8	-11.6
	傾 向 値	-37.8		-34.4		-30.7		-26.5		-22.1		-17.6		-13.9		-12.2			
売 上 額	増 加	11.5	7.0	15.1	11.2	12.4	14.0	16.0	13.7	13.5	11.4	14.0	12.9	14.7	13.3	8.2	8.4		10.4
	変 ら ず	52.0	55.7	52.0	57.2	54.9	56.0	60.7	60.8	64.2	67.1	69.9	67.4	63.6	70.6	70.0	69.2		72.2
	減 少	36.5	37.3	32.9	31.6	32.7	30.0	23.3	25.5	22.3	21.5	16.1	19.7	21.7	16.1	21.8	22.4		17.4
	D・I	-25.0	-30.3	-17.8	-20.4	-20.3	-16.0	-7.3	-11.8	-8.8	-10.1	-2.1	-6.8	-7.0	-2.8	-13.6	-14.0		-7.0
	修正値	-22.2	-28.6	-15.1	-17.4	-21.7	-15.9	-8.6	-14.5	-7.1	-8.8	-2.5	-4.7	-8.6	-4.2	-12.0	-15.1	-3.4	-4.8
	傾 向 値	-32.5		-29.0		-25.7		-21.0		-15.6		-11.6		-8.0		-7.1			
受 注 残	増 加	9.0	4.4	7.9	9.2	13.2	10.7	12.7	13.8	11.6	8.7	10.6	11.0	10.5	10.6	5.4	7.7		6.9
	変 ら ず	57.7	59.5	60.3	63.2	57.2	59.8	64.6	61.9	62.5	71.8	73.2	67.8	69.9	73.9	72.8	72.7		73.7
	減 少	33.3	36.1	31.8	27.6	29.6	29.5	22.7	24.3	25.9	19.5	16.2	21.2	19.6	15.5	21.8	19.6		19.4
	D・I	-24.3	-31.7	-23.9	-18.4	-16.4	-18.8	-10.0	-10.5	-14.3	-10.8	-5.6	-10.2	-9.1	-4.9	-16.4	-11.9		-12.5
	修正値	-21.1	-30.2	-19.6	-15.6	-19.5	-17.2	-10.9	-14.2	-11.5	-9.6	-4.0	-8.2	-12.0	-4.7	-15.2	-14.6	-3.2	-10.0
	傾 向 値	-31.6		-29.1		-26.4		-21.7		-17.4		-13.9		-10.7		-10.6			
収 益	増 加	9.0	5.1	11.2	9.2	12.4	12.0	13.3	13.7	10.1	8.7	9.8	11.6	15.4	10.5	6.1	11.2		6.9
	変 ら ず	55.7	60.7	58.5	59.9	54.9	58.7	59.4	57.5	62.2	69.8	68.5	64.6	62.2	72.7	68.0	65.7		71.6
	減 少	35.3	34.2	30.3	30.9	32.7	29.3	27.3	28.8	27.7	21.5	21.7	23.8	22.4	16.8	25.9	23.1		21.5
	D・I	-26.3	-29.1	-19.1	-21.7	-20.3	-17.3	-14.0	-15.1	-17.6	-12.8	-11.9	-12.2	-7.0	-6.3	-19.8	-11.9		-14.6
	修正値	-24.2	-28.2	-16.8	-18.1	-21.2	-17.3	-14.1	-17.5	-16.1	-12.7	-12.3	-9.1	-9.3	-7.8	-17.2	-13.3	-7.9	-12.8
	傾 向 値	-32.0		-29.4		-26.6		-22.6		-18.8		-16.9		-14.3		-13.4			
業 種 別 転 記 表																			
価 格 動 向	販 売 価 格	3.2	7.6	14.5	8.6	13.7	10.0	14.0	11.1	9.5	13.4	9.8	8.9	5.6	8.4	7.5	2.8		4.9
	〃 修正値	4.1	5.7	14.2	9.0	10.9	8.7	11.0	9.5	11.1	10.9	10.0	9.9	4.0	7.6	4.9	2.5	0.9	3.0
	〃 傾向値	0.5		3.9		7.9		10.4		12.1		12.3		10.7		8.9			
	原 材 料 価 格	52.0	38.6	52.7	44.8	49.0	50.6	48.6	42.5	44.2	45.6	33.8	38.4	31.5	26.1	34.1	29.4		29.8
〃 修正値	48.4	34.6	50.6	43.2	47.8	46.4	44.3	41.8	42.2	41.4	34.5	38.1	31.9	24.9	30.2	29.8	-1.7	26.3	
〃 傾向値	34.3		41.9		47.2		49.9		49.6		46.3		41.7		37.7				
在 庫 ・ 資 金 繰 り	原材料在庫数量	-2.5	-3.8	-2.0	-0.7	-9.9	-2.0	-0.7	-6.0	-2.0	0.7	-2.9	-1.4	0.7	-2.9	0.0	-1.4		-1.4
	〃 修正値	-3.2	-2.6	-1.5	-0.8	-8.3	-2.4	-0.8	-5.4	-3.2	1.1	-3.2	-1.7	1.6	-3.7	0.0	-0.8	-1.6	-0.8
	資 金 繰 り	-14.7	-12.1	-12.5	-11.9	-10.4	-10.0	-14.0	-9.8	-8.1	-14.1	-8.4	-8.2	-10.5	-8.5	-8.2	-11.2		-7.6
	〃 修正値	-12.5	-11.5	-12.2	-9.9	-11.7	-11.6	-14.2	-9.9	-5.9	-13.3	-8.2	-5.7	-11.8	-10.1	-9.0	-11.4	2.8	-7.5
前 年 同 期 比	売 上 額	-20.7		-11.1		-10.5		-3.3		-5.4		2.1		-5.6		-7.5			
	収 益	-23.7		-16.5		-18.9		-12.7		-10.8		-9.8		-7.7		-11.5			
雇 用	残 業 時 間	-10.9	-17.2	-9.9	-10.6	-4.6	-9.4	-2.1	-6.6	-7.4	-2.0	-2.8	-4.8	-3.6	-0.7	-4.8	-4.2		-4.3
	人 手	-6.5	-2.5	-10.5	-6.6	-6.5	-12.0	-8.1	-7.9	-6.1	-8.9	-2.8	-6.8	-7.1	-5.7	-12.2	-8.5		-11.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	12.3	11.5	11.8	7.3	9.8	6.7	6.8	5.9	13.6	13.2	9.8	4.8	9.1	5.6	9.5	7.0		6.9
	借入しない/借入の予定なし(%)	87.7	88.5	88.2	92.7	90.2	93.3	93.2	94.1	86.4	86.8	90.2	95.2	90.9	94.4	90.5	93.0		93.1
	借 入 難 易 度	-10.9		-6.6		-8.8		-8.4		-12.4		-8.6		-7.5		-7.9			
有効回答事業所数	156		152		153		150		148		143		144		147				

製造業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期		2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
	4月～6月期	7月～9月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期		
設備投資動向(%)	現在の設備	-3.9	-3.9	0.6	-3.9	0.0	-0.7	-2.6	-2.7	1.4	-0.7	-0.7	2.7	0.0	-0.7	-4.1	-0.7			-2.7
	実施した・予定あり	10.7	9.2	11.2	8.8	13.2	9.5	12.2	10.1	15.9	11.2	14.2	13.3	12.0	15.0	13.2	9.3			15.5
	事業用土地・建物	-	7.1	17.6	15.4	15.0	14.3	22.2	13.3	30.4	18.8	30.0	36.8	23.5	23.8	26.3	23.1			9.1
	機械・設備の新・増設	18.8	14.3	35.3	30.8	25.0	14.3	33.3	40.0	21.7	37.5	40.0	31.6	17.6	33.3	21.1	15.4			27.3
	機械・設備の更改	50.0	42.9	29.4	38.5	30.0	35.7	27.8	40.0	34.8	18.8	20.0	15.8	29.4	38.1	63.2	38.5			50.0
	事務機器	18.8	21.4	35.3	15.4	40.0	14.3	38.9	20.0	21.7	37.5	15.0	26.3	17.6	4.8	15.8	15.4			18.2
	車両	25.0	28.6	29.4	30.8	30.0	28.6	16.7	40.0	21.7	25.0	20.0	26.3	17.6	14.3	10.5	30.8			18.2
	その他	-	-	-	-	-	14.3	-	-	4.3	-	-	-	11.8	4.8	-	-			-
	実施しない・予定なし	89.3	90.8	88.8	91.2	86.8	90.5	87.8	89.9	84.1	88.8	85.8	86.7	88.0	85.0	86.8	90.7			84.5
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	48.1		46.1		39.9		34.7		39.2		31.5		38.9		34.7			
人手不足		9.0		9.9		9.2		8.7		11.5		13.3		14.6		16.3				
大手企業との競争の激化		10.9		7.2		6.5		8.7		4.1		8.4		6.9		4.8				
同業者間の競争の激化		18.6		17.8		17.0		15.3		17.6		18.2		16.7		15.0				
親企業による選別の強化		0.6		1.3		2.0		1.3		-		-		0.7		0.7				
輸入製品との競争の激化		1.9		2.0		2.0		2.0		0.7		1.4		3.5		1.4				
合理化の不足		2.6		3.3		3.3		4.0		6.8		6.3		3.5		4.8				
利幅の縮小		19.2		15.8		18.3		16.7		21.6		22.4		18.1		19.0				
原材料高		32.7		35.5		40.5		39.3		38.5		41.3		38.2		38.1				
販売納入先からの値下げ要請		3.8		3.9		3.9		2.0		2.7		1.4		2.8		4.1				
仕入先からの値上げ要請		17.3		19.7		19.0		15.3		12.8		9.8		12.5		10.2				
人件費の増加		2.6		3.3		4.6		4.7		8.1		4.9		4.9		4.1				
人件費以外の経費増加		0.6		2.0		1.3		0.7		1.4		2.1		1.4		0.7				
工場・機械の狭小・老朽化		7.1		6.6		7.2		9.3		7.4		6.3		6.9		8.2				
生産能力の不足		1.3		2.0		2.6		4.0		4.1		2.8		3.5		1.4				
下請の確保難		0.6		2.0		1.3		2.0		2.7		2.1		1.4		2.0				
代金回収の悪化		1.3		0.7		0.7		0.7		0.7		0.7		0.7		0.7				
地価の高騰		-		0.7		0.7		0.7		-		0.7		0.7		0.7				
天候の不順		-		1.3		-		-		0.7		0.7		1.4		-				
地場産業の衰退		2.6		1.3		2.0		0.7		0.7		-		-		1.4				
大手企業・工場の縮小・撤退		2.6		2.0		1.3		1.3		-		0.7		0.7		0.7				
為替レートの変動	-		0.7		1.3		2.7		0.7		1.4		1.4		1.4					
その他	4.5		2.0		0.7		-		1.4		0.7		0.7		0.7					
問題なし	3.8		8.6		6.5		8.7		6.8		9.8		7.6		11.6					
重点経営施策(%)	販路を広げる	57.1		52.6		53.6		49.3		54.1		53.8		54.9		51.0				
	経費を節減する	49.4		48.0		58.2		50.0		53.4		46.9		42.4		36.7				
	情報力を強化する	16.0		17.1		13.7		13.3		13.5		13.3		11.1		10.9				
	新製品・技術を開発する	10.3		9.2		10.5		9.3		6.1		5.6		6.9		8.8				
	不採算部門を整理・縮小する	4.5		4.6		3.9		2.0		1.4		2.1		1.4		2.0				
	提携先を見つける	7.1		4.6		3.9		6.0		7.4		7.7		7.6		6.8				
	機械化を推進する	6.4		7.9		7.2		10.0		6.8		6.3		8.3		7.5				
	人材を確保する	10.3		13.8		12.4		12.0		14.9		13.3		16.7		17.7				
	パート化を図る	0.6		2.6		2.0		-		-		1.4		0.7		1.4				
	教育訓練を強化する	2.6		3.3		5.2		2.0		2.0		1.4		4.2		1.4				
	労働条件を改善する	3.2		2.0		4.6		0.7		2.7		2.1		2.8		2.0				
	工場・機械を増設・移転する	3.2		2.6		2.0		4.0		1.4		2.8		2.8		1.4				
	不動産の有効活用を図る	1.3		1.3		0.7		1.3		1.4		1.4		-		0.7				
	その他	0.6		0.7		-		-		1.4		2.1		0.7		0.7				
	特になし	9.0		12.5		11.1		13.3		10.1		11.9		11.8		12.2				
有効回答事業所数	156		152		153		150		148		143		144		147					

卸売業

転記表 No.1

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	16.7	-	29.4	17.6	5.0	23.5	10.5	5.0	9.1	-	11.1	23.8	23.5	29.4	33.4	29.4		16.7
	普 通	44.4	68.4	29.4	58.9	65.0	41.2	52.7	55.0	63.6	68.4	55.6	52.4	53.0	53.0	33.3	47.1		33.3
	悪 い	38.9	31.6	41.2	23.5	30.0	35.3	36.8	40.0	27.3	31.6	33.3	23.8	23.5	17.6	33.3	23.5		50.0
	D・I	-22.2	-31.6	-11.8	-5.9	-25.0	-11.8	-26.3	-35.0	-18.2	-31.6	-22.2	0.0	0.0	11.8	0.1	5.9		-33.3
	修 正 値	-18.1	-29.8	-11.7	-2.7	-24.6	-9.2	-23.3	-32.6	-14.2	-27.8	-22.4	-1.1	-5.1	9.0	2.4	4.5	7.5	-24.2
	傾 向 値	-38.6		-34.0		-29.8		-25.3		-20.8		-21.6		-19.8		-13.4			
売 上 額	増 加	22.2	-	29.4	11.1	35.0	29.4	25.0	20.0	31.8	25.0	22.2	38.1	22.2	38.9	21.1	33.3		10.5
	変 ら ず	44.5	57.9	41.2	61.1	35.0	47.1	45.0	45.0	50.0	50.0	50.0	47.6	55.6	33.3	36.8	38.9		42.1
	減 少	33.3	42.1	29.4	27.8	30.0	23.5	30.0	35.0	18.2	25.0	27.8	14.3	22.2	27.8	42.1	27.8		47.4
	D・I	-11.1	-42.1	0.0	-16.7	5.0	5.9	-5.0	-15.0	13.6	0.0	-5.6	23.8	0.0	11.1	-21.0	5.5		-36.9
	修 正 値	-6.2	-39.5	1.7	-8.3	-2.5	5.6	-2.3	-19.7	17.2	2.8	-1.4	28.7	-7.8	10.2	-16.2	-0.3	-8.4	-29.6
	傾 向 値	-23.4		-18.4		-14.6		-8.1		0.3		2.7		1.4		-1.3			
収 益	増 加	22.2	-	17.6	11.1	10.0	17.6	15.0	15.0	9.1	10.0	16.7	19.0	11.1	33.3	21.1	27.8		5.3
	変 ら ず	38.9	52.6	53.0	55.6	60.0	58.9	50.0	50.0	68.2	55.0	55.5	66.7	50.0	38.9	42.1	38.9		52.6
	減 少	38.9	47.4	29.4	33.3	30.0	23.5	35.0	35.0	22.7	35.0	27.8	14.3	38.9	27.8	36.8	33.3		42.1
	D・I	-16.7	-47.4	-11.8	-22.2	-20.0	-5.9	-20.0	-20.0	-13.6	-25.0	-11.1	4.7	-27.8	5.5	-15.7	-5.5		-36.8
	修 正 値	-8.8	-43.4	-5.5	-16.3	-27.9	-6.0	-15.7	-24.2	-4.8	-18.7	-6.3	8.7	-34.0	4.4	-14.2	-11.4	19.8	-27.1
	傾 向 値	-26.9		-22.1		-22.2		-21.2		-16.7		-16.3		-17.2		-17.6			
価 格 動 向	販 売 価 格	38.8	15.8	52.9	38.8	55.0	41.1	45.0	35.0	45.5	35.0	44.4	42.8	16.7	44.4	21.1	16.6		21.0
	〃 修 正 値	39.4	13.3	47.4	36.3	52.7	36.6	40.8	36.9	47.6	32.9	39.7	40.4	18.7	37.1	18.8	21.1	0.1	20.4
	〃 傾 向 値	11.0		21.7		33.1		43.6		48.8		48.5		42.7		34.9			
	仕 入 価 格	66.7	42.1	70.6	61.1	65.0	52.9	50.0	45.0	31.9	30.0	50.0	28.5	27.8	33.3	21.0	5.5		21.0
	〃 修 正 値	66.0	32.7	70.4	61.3	65.3	50.3	40.2	48.0	36.3	26.1	47.9	31.3	32.0	30.6	15.1	10.9	-16.9	17.1
	〃 傾 向 値	39.1		49.4		58.7		63.4		58.7		51.8		44.6		36.3			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	16.7	5.3	0.0	22.2	5.0	0.0	0.0	5.0	9.1	0.0	11.1	0.0	-5.6	5.6	10.6	-16.7		0.0
	〃 修 正 値	14.2	6.8	1.1	16.3	6.0	1.1	2.7	7.8	6.6	1.2	11.4	-3.4	-3.6	7.0	10.6	-11.9	14.2	0.2
	資 金 繰 り	-5.6	-5.3	0.0	-5.6	-10.0	0.0	0.0	-10.0	-4.5	-5.0	16.6	-14.3	5.5	11.1	0.0	5.6		-5.3
	〃 修 正 値	-6.3	-4.7	4.0	-5.8	-10.7	4.4	-0.8	-11.9	-4.6	-4.9	17.2	-12.6	2.4	11.8	-1.2	1.0	-3.6	-4.7
前 年 同 期 比	売 上 額	0.0		11.8		10.0		-5.0		36.4		27.7		-5.6		-10.5			
	収 益	-22.2		0.0		-25.0		-30.0		-4.5		5.6		-33.3		-15.8			
	販 売 価 格	50.0		64.7		65.0		50.0		54.5		44.4		33.4		21.0			
雇 用	残 業 時 間	0.0	-10.5	-17.6	0.0	-5.0	-11.8	0.0	5.0	0.0	0.0	11.1	9.5	-16.6	0.0	-5.2	-11.1		-15.8
	人 手	-11.1	-15.8	-11.7	-22.2	-20.0	-29.4	-25.0	-25.0	-31.8	-20.0	-33.3	-28.6	-16.7	-38.9	-21.1	-22.2		-26.3
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	38.9	15.8	11.8	16.7	5.0	0.0	15.8	10.0	19.0	5.3	17.6	25.0	23.5	5.9	11.1	5.9		11.1
	借入しない/借入の予定なし(%)	61.1	84.2	88.2	83.3	95.0	100.0	84.2	90.0	81.0	94.7	82.4	75.0	76.5	94.1	88.9	94.1		88.9
	借 入 難 易 度	0.0		23.1		12.5		-14.3		-11.8		-14.3		23.1		6.7			
有効回答事業所数		18		18		20		20		22		18		18		19			

卸売業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期					
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.6	-5.3	0.0	-5.6	-5.0	0.0	-10.5	-5.3	-4.5	-16.7	-5.6	-4.8	-11.1	-5.6	-10.5	-11.7		-15.8
	実施した・予定あり	35.3	29.4	35.3	29.4	27.8	18.8	22.2	44.4	22.7	29.4	22.2	20.0	29.4	5.6	11.1	23.5		11.1
	事業用土地・建物	-	-	16.7	-	20.0	-	25.0	12.5	-	-	-	-	20.0	100.0	-	25.0		-
	機械・設備の新・増設	16.7	20.0	-	20.0	40.0	-	-	25.0	20.0	-	-	50.0	-	-	50.0	-		50.0
	機械・設備の更改	16.7	-	-	40.0	-	-	-	-	20.0	-	25.0	25.0	40.0	100.0	50.0	25.0		50.0
	事務機器	50.0	80.0	50.0	20.0	20.0	66.7	25.0	37.5	40.0	40.0	25.0	25.0	20.0	-	-	25.0		50.0
	車両	66.7	40.0	50.0	40.0	60.0	33.3	75.0	50.0	100.0	60.0	100.0	50.0	20.0	100.0	50.0	25.0		50.0
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	64.7	70.6	64.7	70.6	72.2	81.2	77.8	55.6	77.3	70.6	77.8	80.0	70.6	94.4	88.9	76.5		88.9
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.0		50.0		35.0		45.0		36.4		44.4		27.8		42.1		
人手不足		22.2		16.7		25.0		15.0		22.7		22.2		11.1		21.1			
同業者間の競争の激化		16.7		11.1		15.0		25.0		13.6		11.1		22.2		26.3			
輸入品との競争の激化		5.6		-		-		5.0		-		-		-		-			
流通経路の変化による競争の激化		-		-		5.0		-		-		-		-		-			
合理化の不足		-		-		-		-		-		-		-		-			
小口注文・多頻度配送の増加		-		-		-		-		9.1		-		-		10.5			
利幅の縮小		5.6		11.1		10.0		10.0		27.3		11.1		16.7		10.5			
取扱商品の陳腐化		-		-		-		-		-		-		-		-			
販売商品の不足		22.2		22.2		5.0		10.0		9.1		11.1		16.7		10.5			
販売納入先からの値下げ要請		5.6		-		-		-		-		-		5.6		-			
仕入先からの値上げ要請		27.8		22.2		30.0		35.0		27.3		16.7		33.3		21.1			
人件費の増加		5.6		-		5.0		10.0		-		11.1		11.1		5.3			
人件費以外の経費の増加		11.1		5.6		5.0		-		-		11.1		11.1		10.5			
取引先の減少		11.1		-		25.0		25.0		27.3		22.2		5.6		21.1			
店舗の狭小・老朽化		-		5.6		-		-		4.5		-		-		-			
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		-		-			
地価の高騰		-		-		-		-		-		-		5.6		-			
駐車場の確保難		11.1		5.6		5.0		10.0		4.5		11.1		5.6		5.3			
天候の不順		-		-		-		-		-		-		-		-			
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		-			
為替レートの変動		5.6		11.1		15.0		-		13.6		5.6		5.6		-			
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		5.0		-		-		-		-				
その他	-		-		15.0		5.0		-		-		-		5.3				
問題なし	5.6		11.1		5.0		-		9.1		11.1		16.7		5.3				
重点経営施策(%)	販路を広げる	55.6		50.0		45.0		50.0		45.5		61.1		55.6		52.6			
	経費を節減する	33.3		33.3		25.0		40.0		40.9		38.9		38.9		31.6			
	品揃えを充実する	22.2		16.7		15.0		10.0		22.7		11.1		22.2		15.8			
	情報力を強化する	27.8		22.2		40.0		25.0		18.2		11.1		22.2		10.5			
	新しい事業を始める	11.1		5.6		10.0		10.0		9.1		5.6		16.7		5.3			
	提携先を見つける	-		-		-		5.0		-		5.6		5.6		15.8			
	機械化を推進する	5.6		5.6		5.0		-		-		-		11.1		-			
	人材を確保する	22.2		16.7		20.0		15.0		31.8		33.3		16.7		31.6			
	パート化を図る	-		-		-		-		-		5.6		-		-			
	教育訓練を強化する	5.6		5.6		10.0		-		-		5.6		5.6		5.3			
	流通経路の見直しをする	-		11.1		5.0		-		4.5		-		-		-			
	取引先を支援する	5.6		-		-		-		4.5		5.6		-		5.3			
	輸入品の取扱いを増やす	11.1		5.6		-		-		4.5		-		-		-			
	労働条件を改善する	11.1		5.6		10.0		10.0		4.5		-		-		5.3			
	不動産の有効活用を図る	-		-		-		-		-		-		-		-			
	その他	5.6		-		-		5.0		-		-		-		5.3			
特になし	5.6		11.1		10.0		5.0		13.6		11.1		11.1		-				
有効回答事業所数		18		18		20		20		22		18		18		19			

小売業

転記表 No.1

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良	6.8	2.8	11.4	4.2	13.0	5.9	10.9	8.8	9.4	7.8	6.3	9.7	12.3	4.9	6.6	3.2		6.6
	普	67.2	66.6	58.6	70.8	60.9	61.7	62.5	58.8	65.6	64.1	71.8	64.5	66.2	72.1	62.3	76.2		72.1
	悪	26.0	30.6	30.0	25.0	26.1	32.4	26.6	32.4	25.0	28.1	21.9	25.8	21.5	23.0	31.1	20.6		21.3
	D・I	-19.2	-27.8	-18.6	-20.8	-13.1	-26.5	-15.7	-23.6	-15.6	-20.3	-15.6	-16.1	-9.2	-18.1	-24.5	-17.4		-14.7
	修正値	-22.3	-24.6	-19.8	-24.7	-12.9	-26.3	-14.7	-23.0	-17.9	-18.3	-16.6	-20.3	-10.5	-17.5	-23.2	-17.2	-12.7	-15.0
	傾向値	-31.7		-28.2		-23.3		-18.5		-16.2		-15.4		-14.5		-15.1			
売 上 額	増	12.3	4.1	12.9	12.3	14.5	7.1	15.4	13.2	10.8	14.1	6.3	9.2	9.2	12.5	4.9	4.6		4.9
	変	63.0	72.6	62.8	63.0	62.3	71.5	64.6	60.3	66.1	70.3	76.5	70.8	73.9	71.9	68.9	76.9		77.1
	減	24.7	23.3	24.3	24.7	23.2	21.4	20.0	26.5	23.1	15.6	17.2	20.0	16.9	15.6	26.2	18.5		18.0
	D・I	-12.4	-19.2	-11.4	-12.4	-8.7	-14.3	-4.6	-13.3	-12.3	-1.5	-10.9	-10.8	-7.7	-3.1	-21.3	-13.9		-13.1
	修正値	-10.8	-17.1	-12.4	-11.7	-10.1	-16.6	-6.5	-14.3	-11.1	-2.0	-10.2	-10.4	-8.8	-5.0	-21.5	-12.9	-12.7	-13.1
	傾向値	-26.0		-20.5		-15.6		-11.3		-9.3		-9.2		-9.0		-11.0			
収 益	増	6.8	1.4	10.0	8.2	7.2	4.3	7.7	7.2	7.7	6.3	3.1	6.2	4.7	6.3	3.3	4.7		3.3
	変	69.9	73.9	61.4	65.8	66.7	70.0	66.1	65.3	66.1	71.5	79.7	67.6	68.7	74.9	66.7	73.4		73.4
	減	23.3	24.7	28.6	26.0	26.1	25.7	26.2	27.5	26.2	22.2	17.2	26.2	26.6	18.8	30.0	21.9		23.3
	D・I	-16.5	-23.3	-18.6	-17.8	-18.9	-21.4	-18.5	-20.3	-18.5	-15.9	-14.1	-20.0	-21.9	-12.5	-26.7	-17.2		-20.0
	修正値	-15.8	-19.9	-18.3	-17.2	-20.6	-22.0	-17.5	-22.9	-19.0	-13.6	-12.7	-19.1	-21.9	-12.1	-24.2	-18.9	-2.3	-17.5
	傾向値	-27.4		-23.5		-20.8		-19.1		-18.4		-18.1		-17.9		-19.3			
価 格 動 向	販	12.3	0.0	17.4	10.9	23.2	14.3	26.1	18.8	13.8	18.8	9.4	13.8	12.3	12.5	13.3	1.5		11.7
	修正値	12.6	0.5	15.8	11.0	19.0	11.9	24.5	16.2	16.5	18.3	9.4	15.3	9.2	10.7	12.2	1.0	3.0	10.8
	傾向値	0.5		4.4		9.5		16.1		19.9		19.1		16.8		13.8			
	仕	23.3	8.3	37.1	23.3	37.7	34.3	41.6	34.8	23.1	29.6	19.1	26.1	30.8	18.7	26.7	15.3		25.0
	修正値	23.4	7.7	34.7	22.7	32.3	31.4	38.3	30.4	26.3	28.6	19.1	27.2	25.5	17.2	23.2	13.2	-2.3	23.8
	傾向値	11.6		17.9		24.6		31.3		34.9		32.6		29.5		26.8			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在	1.4	-6.9	2.9	1.3	1.5	-2.8	6.1	4.3	1.5	3.1	-1.5	1.6	-1.5	-1.5	-3.3	-1.5		-3.3
	修正値	-0.4	-5.4	2.7	0.3	1.7	-2.4	6.3	2.8	0.0	3.6	-1.8	0.6	-0.4	-1.2	-2.6	-1.6	-2.2	-2.1
	資	-4.1	-9.6	-15.7	-4.2	-15.9	-15.7	-16.9	-13.0	-9.2	-10.9	-12.5	-10.7	-13.9	-10.9	-20.0	-12.3		-18.4
修正値	-4.9	-9.0	-14.5	-5.0	-15.8	-15.6	-17.1	-13.1	-11.2	-11.0	-11.2	-12.2	-13.2	-10.3	-18.9	-12.1	-5.7	-17.5	
前 年 同 期 比	売	-11.0		-1.4		-7.4		1.6		-6.1		-10.9		-6.2		-16.4			
	収	-12.3		-11.4		-16.2		-18.5		-16.9		-20.3		-15.4		-21.7			
	販	13.7		17.2		25.0		27.7		16.9		17.1		13.9		15.0			
雇 用	残	-2.7	-9.6	-7.1	-2.8	-8.8	-4.3	-1.6	-8.8	-4.7	-1.6	-3.1	-4.7	-4.7	1.5	-11.5	-6.3		-8.2
	人	-6.9	-4.1	-5.7	-7.2	-3.0	-5.7	-9.3	-1.5	-9.5	-11.1	-4.7	-9.5	-6.2	-3.2	-5.0	-4.7		-3.4
借 入 金	借	16.7	5.5	11.4	4.2	14.7	4.3	18.5	8.8	10.8	12.5	11.1	10.9	9.2	7.9	11.5	7.7		9.8
	借	83.3	94.5	88.6	95.8	85.3	95.7	81.5	91.2	89.2	87.5	88.9	89.1	90.8	92.1	88.5	92.3		90.2
	借	-5.2		-7.4		-1.7		-5.4		-7.2		-3.5		-5.4		-8.2			
有効回答事業所数		73		70		69		65		65		64		65		61			

小売業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期	
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-11.0	-6.9	-5.7	-11.0	-4.5	-5.8	-4.6	-5.9	-3.1	-4.7	-6.3	-3.2	-3.2	-6.6	-4.9	-3.2			-3.3
	実施した・予定あり	8.6	7.4	8.8	7.5	7.6	6.0	11.1	6.1	11.5	9.7	11.5	8.5	9.5	6.7	10.0	7.9			6.7
	事業用土地・建物	-	20.0	-	-	20.0	-	14.3	25.0	42.9	33.3	28.6	40.0	33.3	25.0	16.7	40.0			25.0
	事務機器	50.0	-	16.7	40.0	20.0	-	-	-	28.6	16.7	28.6	40.0	33.3	25.0	33.3	20.0			50.0
	車両	50.0	20.0	83.3	60.0	60.0	50.0	28.6	25.0	42.9	50.0	57.1	-	16.7	50.0	16.7	40.0			-
	その他	33.3	60.0	33.3	20.0	60.0	50.0	57.1	50.0	28.6	-	42.9	40.0	16.7	-	33.3	-			25.0
	実施しない・予定なし	91.4	92.6	91.2	92.5	92.4	94.0	88.9	93.9	88.5	90.3	88.5	91.5	90.5	93.3	90.0	92.1			93.3
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	37.0		38.6		31.9		35.4		30.8		32.8		32.3		41.0				
	人手不足	8.2		5.7		5.8		6.2		10.8		7.8		9.2		4.9				
	同業者間の競争の激化	20.5		24.3		26.1		30.8		23.1		23.4		21.5		18.0				
	大型店との競争の激化	17.8		21.4		23.2		16.9		21.5		15.6		12.3		13.1				
	輸入製品との競争の激化	-		1.4		1.4		-		-		-		1.5		-				
	利幅の縮小	12.3		12.9		15.9		15.4		18.5		18.8		20.0		23.0				
	取扱商品の陳腐化	2.7		4.3		4.3		4.6		7.7		3.1		-		-				
	販売商品の不足	2.7		4.3		-		1.5		-		4.7		4.6		6.6				
	販売納入先からの値下げ要請	-		-		1.4		-		3.1		1.6		1.5		1.6				
	仕入先からの値上げ要請	13.7		15.7		17.4		20.0		10.8		15.6		16.9		11.5				
	人件費の増加	4.1		1.4		7.2		6.2		7.7		6.3		6.2		6.6				
	人件費以外の経費の増加	6.8		4.3		1.4		7.7		9.2		6.3		6.2		6.6				
	取引先の減少	6.8		5.7		7.2		6.2		7.7		4.7		6.2		6.6				
	商圏人口の減少	4.1		4.3		7.2		9.2		7.7		6.3		3.1		4.9				
	商店街の集客力の低下	19.2		15.7		8.7		12.3		16.9		15.6		13.8		13.1				
	店舗の狭小・老朽化	1.4		4.3		4.3		3.1		3.1		4.7		4.6		1.6				
	代金回収の悪化	-		-		1.4		1.5		1.5		1.6		1.5		-				
	地価の高騰	-		-		-		-		1.5		-		1.5		1.6				
	駐車場の確保難	-		-		-		1.5		-		-		3.1		-				
	天候の不順	4.1		4.3		2.9		1.5		1.5		-		3.1		-				
地場産業の衰退	1.4		1.4		2.9		1.5		1.5		1.6		1.5		1.6					
大手企業・工場の縮小・撤退	-		-		-		-		-		-		-		-					
その他	2.7		1.4		1.4		1.5		3.1		3.1		3.1		3.3					
問題なし	12.3		15.7		14.5		10.8		12.3		14.1		12.3		16.4					
重点経営施策(%)	品揃えを改善する	26.0		25.7		26.1		33.8		27.7		23.4		20.0		24.6				
	経費を節減する	37.0		44.3		42.0		43.1		40.0		31.3		38.5		36.1				
	宣伝・広報を強化する	15.1		22.9		26.1		27.7		20.0		26.6		26.2		26.2				
	新しい事業を始める	1.4		-		1.4		1.5		1.5		1.6		3.1		1.6				
	店舗・設備を改装する	4.1		4.3		2.9		6.2		3.1		6.3		6.2		3.3				
	仕入先を開拓・選別する	8.2		8.6		5.8		6.2		4.6		6.3		4.6		6.6				
	営業時間を延長する	-		-		-		-		-		-		-		-				
	売れ筋商品を取り扱う	13.7		12.9		18.8		13.8		12.3		12.5		9.2		4.9				
	商店街事業を活性化させる	15.1		14.3		10.1		13.8		16.9		14.1		10.8		11.5				
	機械化を推進する	4.1		-		1.4		1.5		1.5		1.6		1.5		1.6				
	人材を確保する	9.6		4.3		5.8		6.2		4.6		6.3		12.3		4.9				
	パート化を図る	1.4		2.9		1.4		1.5		3.1		3.1		-		-				
	教育訓練を強化する	2.7		2.9		2.9		1.5		1.5		1.6		4.6		-				
	輸入品の取扱いを増やす	-		-		-		-		-		-		-		-				
	不動産の有効活用を図る	1.4		1.4		1.4		1.5		4.6		1.6		3.1		1.6				
	その他	1.4		-		1.4		-		-		-		-		-				
	特になし	20.5		18.6		23.2		20.0		21.5		25.0		20.0		32.8				
有効回答事業所数	73		70		69		65		65		64		65		61					

サービス業

転記表 No.1

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	3.8	3.4	8.0	-	7.8	12.5	5.9	8.0	10.0	5.9	12.5	6.0	13.5	10.9	14.9	7.7		10.6
	普 通	64.1	63.8	66.0	71.2	66.7	60.4	62.7	64.0	72.0	64.7	77.1	78.0	67.3	78.2	70.2	69.2		76.6
	悪 い	32.1	32.8	26.0	28.8	25.5	27.1	31.4	28.0	18.0	29.4	10.4	16.0	19.2	10.9	14.9	23.1		12.8
	D・I	-28.3	-29.4	-18.0	-28.8	-17.7	-14.6	-25.5	-20.0	-8.0	-23.5	2.1	-10.0	-5.7	0.0	0.0	-15.4		-2.2
	修正値	-25.0	-29.2	-20.5	-23.9	-20.0	-17.1	-22.9	-20.7	-5.2	-22.1	-3.9	-6.0	-9.9	-6.0	3.6	-16.9	13.5	-0.9
	傾 向 値	-32.2		-28.6		-25.7		-23.4		-19.8		-14.8		-10.8		-6.1			
売 上 額	増 加	11.3	8.5	14.0	5.8	15.7	14.0	9.8	7.8	12.0	7.8	18.8	10.0	19.2	12.5	19.1	13.5		14.9
	変 ら ず	62.3	64.4	66.0	69.2	58.8	66.0	66.7	68.7	66.0	70.6	77.0	72.0	67.3	81.2	70.3	73.0		72.3
	減 少	26.4	27.1	20.0	25.0	25.5	20.0	23.5	23.5	22.0	21.6	4.2	18.0	13.5	6.3	10.6	13.5		12.8
	D・I	-15.1	-18.6	-6.0	-19.2	-9.8	-6.0	-13.7	-15.7	-10.0	-13.8	14.6	-8.0	5.7	6.2	8.5	0.0		2.1
	修正値	-13.1	-17.3	-10.6	-12.7	-10.1	-10.0	-12.3	-17.9	-5.8	-12.1	5.3	-1.2	1.6	-0.9	8.8	-4.9	7.2	1.9
	傾 向 値	-24.9		-19.2		-15.4		-12.6		-10.5		-7.3		-2.8		1.9			
収 益	増 加	11.3	6.8	10.0	5.8	11.8	12.0	9.8	7.8	10.0	5.9	16.7	10.0	13.5	10.4	17.0	5.8		10.6
	変 ら ず	52.9	62.7	60.0	59.6	54.9	62.0	60.8	58.9	66.0	68.6	77.0	66.0	73.0	81.3	68.1	78.8		70.3
	減 少	35.8	30.5	30.0	34.6	33.3	26.0	29.4	33.3	24.0	25.5	6.3	24.0	13.5	8.3	14.9	15.4		19.1
	D・I	-24.5	-23.7	-20.0	-28.8	-21.5	-14.0	-19.6	-25.5	-14.0	-19.6	10.4	-14.0	0.0	2.1	2.1	-9.6		-8.5
	修正値	-22.8	-23.3	-21.3	-23.3	-22.4	-14.3	-18.4	-28.0	-12.6	-19.9	3.5	-8.8	-3.4	-2.5	2.8	-13.2	6.2	-8.3
	傾 向 値	-28.7		-26.0		-24.2		-22.6		-20.1		-15.0		-8.5		-3.1			
価 格 動 向	料 金 価 格	7.5	6.8	14.0	13.5	15.6	14.0	11.7	11.8	8.0	7.9	10.4	14.0	19.3	12.5	21.3	21.2		17.0
	〃 修正値	10.3	5.4	12.0	15.9	11.4	10.9	10.8	9.6	12.4	7.6	7.9	15.7	13.4	9.1	18.7	16.5	5.3	16.7
	〃 傾向値	2.3		6.4		9.9		11.8		12.3		11.9		11.9		13.6			
	材 料 価 格	41.5	39.0	42.0	42.3	43.1	44.0	31.4	41.2	30.0	33.4	33.3	30.0	48.1	29.2	43.5	40.4		39.1
	〃 修正値	42.1	34.4	39.9	42.3	40.2	41.9	29.3	38.4	32.5	30.5	31.1	32.0	41.6	28.0	39.7	36.0	-1.9	34.3
	〃 傾向値	26.3		33.9		39.2		40.5		38.1		35.5		35.1		37.2			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	資 金 繰 り	-13.2	-13.5	-12.0	-11.6	-13.7	-10.0	-23.6	-11.8	-8.0	-21.6	0.0	-12.0	-11.8	-2.1	-2.1	-5.7		-4.2
	〃 修正値	-10.0	-11.8	-13.1	-8.3	-17.3	-11.1	-20.3	-15.9	-6.2	-17.9	-3.0	-8.9	-15.4	-5.7	-0.2	-10.7	15.2	-1.7
前 年 同 期 比	売 上 額	-18.9		-6.0		-5.9		-13.8		-4.0		18.7		7.7		8.5			
	収 益	-28.3		-20.0		-25.5		-25.5		-18.0		4.2		-5.8		-4.3			
雇 用	残 業 時 間	-7.5	-15.5	-6.0	-7.5	-2.0	-2.0	-4.0	-2.0	-10.0	-1.9	-10.4	-8.0	-11.6	-2.0	-2.1	-5.8		-10.6
	人 手	-15.1	-10.3	-18.0	-15.1	-21.5	-16.0	-17.6	-24.0	-18.0	-17.6	-18.7	-20.0	-19.3	-20.8	-19.2	-19.3		-17.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	3.8	8.9	6.0	7.5	9.8	10.2	13.7	12.2	14.0	12.0	8.3	12.0	19.2	8.3	4.3	13.5		8.5
	借入しない/借入の予定なし(%)	96.2	91.1	94.0	92.5	90.2	89.8	86.3	87.8	86.0	88.0	91.7	88.0	80.8	91.7	95.7	86.5		91.5
	借入難易度	-4.8		-8.5		0.0		-9.5		-2.5		-2.8		0.0		0.0			
有効回答事業所数		53		50		52		51		50		49		52		47			

サービス業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対前期比	2024年4～6月期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
設備投資動向(%)	現在の設備	-5.6	-8.7	-4.0	-3.9	-6.0	-4.1	-10.0	-8.0	-8.0	-8.0	-2.1	-14.0	-9.6	-2.1	-10.7	-7.8		-10.8
	実施した・予定あり	17.6	12.5	14.6	18.0	29.2	17.0	16.3	17.4	10.2	14.9	25.5	18.4	26.5	23.9	24.4	24.5		22.2
	事業用土地・建物	11.1	42.9	28.6	22.2	14.3	12.5	12.5	12.5	20.0	28.6	16.7	11.1	7.7	9.1	-	-		-
	機械・設備の新・増設	22.2	42.9	42.9	44.4	35.7	50.0	50.0	37.5	40.0	71.4	58.3	55.6	46.2	63.6	36.4	75.0		30.0
	機械・設備の更改	11.1	-	28.6	11.1	50.0	12.5	25.0	12.5	60.0	28.6	25.0	33.3	38.5	27.3	54.5	25.0		50.0
	事務機器	11.1	14.3	14.3	11.1	7.1	12.5	37.5	25.0	60.0	14.3	33.3	44.4	38.5	36.4	36.4	25.0		40.0
	車両	66.7	42.9	42.9	44.4	28.6	50.0	12.5	37.5	40.0	28.6	41.7	44.4	53.8	45.5	45.5	50.0		50.0
	その他	11.1	-	-	11.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9.1	-		20.0
	実施しない・予定なし	82.4	87.5	85.4	82.0	70.8	83.0	83.7	82.6	89.8	85.1	74.5	81.6	73.5	76.1	75.6	75.5		77.8
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	49.1		40.0		48.1		54.9		44.0		38.8		40.4		31.9		
人手不足		17.0		16.0		21.2		21.6		24.0		20.4		25.0		23.4			
同業者間の競争の激化		22.6		28.0		26.9		27.5		34.0		30.6		25.0		23.4			
大企業との競争の激化		5.7		8.0		7.7		7.8		6.0		6.1		5.8		4.3			
合理化の不足		-		-		-		-		2.0		4.1		5.8		2.1			
利幅の縮小		15.1		14.0		15.4		19.6		20.0		16.3		17.3		21.3			
取扱事務の陳腐化		-		2.0		-		-		-		-		-		-			
材料価格の上昇		32.1		28.0		36.5		29.4		22.0		22.4		38.5		34.0			
料金の値下げ要請		-		-		-		2.0		4.0		-		1.9		4.3			
人件費の増加		1.9		8.0		7.7		5.9		8.0		14.3		9.6		10.6			
人件費以外の経費の増加		1.9		4.0		1.9		5.9		4.0		2.0		3.8		4.3			
技術力の不足		-		2.0		-		-		2.0		2.0		1.9		-			
取引先の減少		7.5		8.0		5.8		7.8		4.0		2.0		5.8		4.3			
商圏人口の減少		-		-		1.9		2.0		2.0		2.0		3.8		4.3			
地価の高騰		-		-		-		2.0		-		-		-		-			
駐車場の確保難		-		2.0		-		2.0		2.0		2.0		1.9		2.1			
店舗・設備の狭小・老朽化		3.8		4.0		9.6		5.9		-		-		-		-			
代金回収の悪化		-		-		-		-		-		-		3.8		2.1			
天候の不順		3.8		6.0		3.8		3.9		2.0		2.0		1.9		-			
地場産業の衰退		-		-		-		-		-		-		-		2.1			
大手企業・工場の縮小・撤退		1.9		-		-		-		-		-		-		-			
その他		5.7		6.0		3.8		2.0		4.0		4.1		1.9		4.3			
問題なし		11.3		10.0		11.5		9.8		10.0		10.2		7.7		10.6			
重点経営施策(%)	販路を広げる	28.3		32.0		26.9		29.4		28.0		24.5		42.3		31.9			
	経費を節減する	52.8		46.0		51.9		45.1		48.0		44.9		42.3		36.2			
	宣伝・広告を強化する	17.0		16.0		21.2		27.5		24.0		24.5		23.1		25.5			
	新しい事業を始める	1.9		2.0		1.9		2.0		-		2.0		5.8		2.1			
	店舗・設備を改装する	5.7		6.0		3.8		3.9		-		-		-		2.1			
	提携先を見つける	9.4		6.0		7.7		5.9		6.0		10.2		9.6		8.5			
	技術力を強化する	15.1		14.0		9.6		17.6		12.0		12.2		9.6		10.6			
	機械化を推進する	-		2.0		-		2.0		2.0		4.1		1.9		2.1			
	人材を確保する	15.1		20.0		19.2		13.7		20.0		24.5		23.1		21.3			
	パート化を図る	-		2.0		-		-		-		-		-		-			
	教育訓練を強化する	9.4		8.0		9.6		9.8		16.0		10.2		9.6		10.6			
	労働条件を改善する	5.7		2.0		5.8		7.8		4.0		6.1		15.4		10.6			
	不動産の有効活用を図る	3.8		2.0		1.9		2.0		4.0		2.0		3.8		2.1			
	その他	-		-		-		-		-		-		-		-			
特になし	11.3		14.0		13.5		15.7		18.0		16.3		7.7		14.9				
有効回答事業所数		53		50		52		51		50		49		52		47			

建設業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	7月～9月期	10月～12月期	10月～12月期	1月～3月期	1月～3月期				
設備投資動向(%)	現在の設備	-9.3	-4.3	-1.9	-9.4	-2.1	-5.5	-9.1	-6.4	-6.2	-7.0	-11.9	-8.3	-12.8	-9.5	-4.7	-10.6		-7.1
	実施した・予定あり	29.6	16.0	25.9	16.7	22.9	9.3	31.8	26.5	25.0	20.9	23.8	13.3	25.5	26.2	25.6	25.5		26.2
	事業用土地・建物	18.8	-	28.6	11.1	18.2	20.0	14.3	15.4	25.0	11.1	20.0	33.3	25.0	18.2	27.3	8.3		18.2
	機械・設備の新・増設	25.0	75.0	28.6	33.3	54.5	40.0	50.0	53.8	33.3	33.3	30.0	33.3	33.3	36.4	45.5	50.0		36.4
	機械・設備の更改	31.3	25.0	28.6	33.3	45.5	20.0	28.6	30.8	33.3	44.4	30.0	33.3	25.0	27.3	27.3	25.0		27.3
	事務機器	31.3	12.5	28.6	22.2	27.3	20.0	-	30.8	50.0	-	20.0	50.0	25.0	18.2	27.3	33.3		27.3
	車両	56.3	50.0	42.9	55.6	36.4	40.0	64.3	46.2	41.7	55.6	50.0	66.7	58.3	54.5	54.5	58.3		36.4
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
	実施しない・予定なし	70.4	84.0	74.1	83.3	77.1	90.7	68.2	73.5	75.0	79.1	76.2	86.7	74.5	73.8	74.4	74.5		73.8
	経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	50.0		43.6		32.7		35.6		32.0		25.6		29.8		20.9		
人手不足		26.8		29.1		32.7		28.9		42.0		41.9		38.3		44.2			
大手企業との競争の激化		5.4		7.3		2.0		4.4		8.0		4.7		6.4		7.0			
同業者間の競争の激化		21.4		23.6		20.4		17.8		24.0		23.3		31.9		27.9			
親企業による選別の強化		-		1.8		-		-		2.0		-		2.1		7.0			
合理化の不足		-		1.8		6.1		-		2.0		-		2.1		2.3			
利幅の縮小		23.2		12.7		18.4		17.8		14.0		18.6		19.1		20.9			
材料価格の上昇		60.7		54.5		65.3		60.0		54.0		58.1		61.7		46.5			
下請の確保難		7.1		10.9		12.2		15.6		12.0		11.6		17.0		11.6			
駐車場・資材置場の確保難		1.8		1.8		2.0		-		-		-		-		-			
人件費の増加		5.4		3.6		4.1		15.6		10.0		14.0		14.9		9.3			
人件費以外の経費の増加		3.6		5.5		8.2		2.2		8.0		4.7		4.3		4.7			
技術力の不足		3.6		7.3		4.1		4.4		4.0		-		-		2.3			
代金回収の悪化		1.8		1.8		2.0		-		-		-		-		-			
天候の不順		3.6		3.6		-		-		-		2.3		-		2.3			
地場産業の衰退		1.8		-		-		-		-		-		-		-			
大手企業・工場の縮小・撤退		1.8		1.8		-		-		2.0		-		2.1		2.3			
その他		1.8		1.8		2.0		-		-		-		-		2.3			
問題なし		7.1		7.3		4.1		2.2		4.0		7.0		-		9.3			
重点経営施策(%)		販路を広げる	37.5		29.1		30.6		28.9		24.0		18.6		36.2		41.9		
	経費を節減する	50.0		49.1		40.8		57.8		46.0		53.5		42.6		53.5			
	情報力を強化する	19.6		20.0		22.4		15.6		22.0		20.9		21.3		32.6			
	新しい工法を導入する	7.1		10.9		6.1		8.9		8.0		7.0		6.4		7.0			
	新しい事業を始める	1.8		3.6		2.0		-		2.0		-		2.1		-			
	技術力を高める	30.4		30.9		32.7		26.7		24.0		34.9		31.9		32.6			
	人材を確保する	33.9		23.6		32.7		31.1		34.0		27.9		34.0		37.2			
	パート化を図る	-		1.8		-		2.2		-		-		2.1		-			
	教育訓練を強化する	5.4		3.6		14.3		6.7		10.0		7.0		8.5		-			
	労働条件を改善する	7.1		5.5		2.0		4.4		10.0		7.0		14.9		4.7			
	不動産の有効活用を図る	7.1		5.5		6.1		2.2		6.0		7.0		4.3		2.3			
	その他	-		-		2.0		4.4		-		-		-		-			
特になし	10.7		14.5		12.2		4.4		10.0		9.3		8.5		9.3				
有効回答事業所数	56		55		49		45		50		43		47		43				

不動産業

転記表 No.1

2024年1月～3月期

注:各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項 目	調査期	2022年		2022年		2022年		2023年		2023年		2023年		2023年		2024年		対 前期比	2024年 4～6月 期
		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期		4月～6月期		7月～9月期		10月～12月期		1月～3月期			
業 況	良 い	8.7	7.4	9.5	4.3	4.5	14.3	8.7	-	-	8.7	-	4.3	13.6	5.3	14.3	4.5		9.5
	普 通	73.9	63.0	66.7	60.9	68.2	61.9	60.9	81.0	82.6	65.2	90.0	74.0	77.3	73.6	66.7	81.9		85.7
	悪 い	17.4	29.6	23.8	34.8	27.3	23.8	30.4	19.0	17.4	26.1	10.0	21.7	9.1	21.1	19.0	13.6		4.8
	D・I	-8.7	-22.2	-14.3	-30.5	-22.8	-9.5	-21.7	-19.0	-17.4	-17.4	-10.0	-17.4	4.5	-15.8	-4.7	-9.1		4.7
	修正値	-4.4	-19.8	-13.3	-25.9	-20.0	-9.2	-21.1	-21.2	-14.8	-14.9	-10.9	-11.4	5.3	-15.5	-3.2	-12.8	-8.5	2.5
	傾 向 値	-15.8		-14.5		-15.6		-16.9		-18.0		-18.5		-14.6		-9.0			
売 上 額	増 加	21.7	14.8	19.0	8.7	22.7	14.3	17.4	4.5	-	4.3	5.0	4.3	13.6	5.0	14.3	4.5		19.0
	変 ら ず	52.2	55.6	47.7	65.2	54.6	47.6	43.5	72.8	73.9	65.3	75.0	65.3	72.8	70.0	66.7	63.7		66.7
	減 少	26.1	29.6	33.3	26.1	22.7	38.1	39.1	22.7	26.1	30.4	20.0	30.4	13.6	25.0	19.0	31.8		14.3
	D・I	-4.4	-14.8	-14.3	-17.4	0.0	-23.8	-21.7	-18.2	-26.1	-26.1	-15.0	-26.1	0.0	-20.0	-4.7	-27.3		4.7
	修正値	-3.5	-15.1	-14.2	-15.5	3.2	-20.2	-20.3	-17.7	-23.7	-25.3	-14.6	-23.8	0.7	-15.5	-2.4	-27.4	-3.1	-0.8
	傾 向 値	-12.3		-12.3		-10.3		-8.8		-12.8		-15.6		-15.7		-13.6			
収 益	増 加	17.4	14.8	23.8	-	9.1	9.5	8.7	4.5	4.3	-	5.0	8.7	18.2	5.0	14.3	9.1		19.0
	変 ら ず	56.5	55.6	47.6	69.6	68.2	52.4	60.9	68.2	69.6	69.6	65.0	65.2	68.2	70.0	61.9	63.6		66.7
	減 少	26.1	29.6	28.6	30.4	22.7	38.1	30.4	27.3	26.1	30.4	30.0	26.1	13.6	25.0	23.8	27.3		14.3
	D・I	-8.7	-14.8	-4.8	-30.4	-13.6	-28.6	-21.7	-22.8	-21.8	-30.4	-25.0	-17.4	4.6	-20.0	-9.5	-18.2		4.7
	修正値	-4.2	-15.1	-7.2	-26.1	-10.1	-25.4	-19.4	-23.6	-19.0	-29.4	-26.0	-14.1	4.8	-15.7	-4.7	-20.4	-9.5	-0.2
	傾 向 値	-14.9		-13.6		-12.6		-11.8		-13.8		-18.0		-18.3		-14.5			
業 況 の 他 の 事 業 所 数																			
業 況 の 他 の 事 業 所 数	販 売 価 格	21.7	25.9	-4.8	0.0	13.6	-9.5	8.7	-4.5	13.7	0.0	15.0	13.7	9.1	15.0	14.3	4.5		9.5
	〃 修正値	21.7	15.8	1.1	4.4	12.7	-3.3	2.5	-6.5	14.5	-6.6	23.8	17.6	7.5	22.6	9.3	1.4	1.8	3.5
	〃 傾 向 値	21.0		20.0		17.1		13.3		8.8		10.3		12.2		12.3			
	仕 入 価 格	47.6	28.0	21.0	28.6	40.0	15.8	47.5	30.0	33.4	38.1	21.0	33.4	25.0	15.8	26.3	25.0		26.3
	〃 修正値	47.3	27.2	22.8	27.5	37.9	19.4	40.2	24.5	36.3	34.5	29.0	33.9	23.2	23.1	20.1	20.8	-3.1	21.9
	〃 傾 向 値	32.8		36.1		37.2		39.1		37.3		35.5		33.6		29.1			
在 庫 ・ 資 金 繰 り	在 庫 数 量	0.0	-11.6	5.0	-13.6	-4.7	0.0	-4.5	-4.7	9.1	-9.1	-5.2	4.5	-4.7	-5.2	5.0	-14.2		0.0
	〃 修正値	-3.0	-11.3	3.8	-14.2	-3.3	-3.3	-3.3	-1.9	3.2	-8.4	-5.0	2.5	-2.2	-7.5	7.5	-10.2	9.7	0.9
	資 金 繰 り	0.0	3.7	0.0	0.0	9.1	-4.7	-13.0	13.7	-13.1	-21.8	-10.0	-21.7	-4.5	-5.0	-9.5	-13.6		-9.5
〃 修正値	3.1	1.0	-2.0	3.3	7.6	-6.2	-10.6	13.9	-8.4	-20.8	-10.4	-17.1	-6.6	-5.1	-6.8	-13.5	-0.2	-7.5	
前 年 同 期 比	売 上 額	-13.1		-9.5		-9.5		-30.5		-13.0		-20.0		0.0		-9.5			
	収 益	-21.8		-19.1		-19.1		-34.8		-21.8		-30.0		4.5		-9.5			
雇 用	残 業 時 間	-17.4	-14.8	-4.7	-17.4	-9.1	0.0	-13.0	-4.5	4.3	-13.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-4.8	0.0		0.0
	人 手	-13.0	-14.8	-4.8	-13.0	-9.1	-4.8	-4.4	-4.5	-8.7	-4.4	-10.0	-4.3	-4.5	-10.5	0.0	-4.5		0.0
借 入 金	借入をした/借入の予定あり(%)	30.4	30.8	33.3	26.1	13.6	25.0	17.4	19.0	21.7	22.7	20.0	36.4	22.7	22.2	33.3	19.0		25.0
	借入しな/借入の予定なし(%)	69.6	69.2	66.7	73.9	86.4	75.0	82.6	81.0	78.3	77.3	80.0	63.6	77.3	77.8	66.7	81.0		75.0
	借 入 難 易 度	0.0		-7.1		5.9		-16.6		-11.1		-5.8		-11.1		-5.3			
有効回答事業所数		23		21		22		23		23		20		22		21			

不動産業

転記表 No.2

2024年1月～3月期

注：各項目の右側は、前期調査における予想(予定)値です。

項目	調査期	2022年	2022年	2022年	2023年	2023年	2023年	2023年	2024年	対	2024年	
	4月～6月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	4月～6月期	7月～9月期	10月～12月期	1月～3月期	前期比		4～6月期
経営上の問題点(%)	売上の停滞・減少	30.4	33.3	27.3	34.8	17.4	20.0	18.2	23.8			
	人手不足	17.4	4.8	4.5	13.0	8.7	15.0	9.1	4.8			
	大手企業との競争の激化	26.1	19.0	22.7	26.1	26.1	15.0	22.7	23.8			
	同業者間の競争の激化	26.1	23.8	27.3	30.4	21.7	20.0	22.7	14.3			
	利幅の縮小	13.0	14.3	9.1	8.7	13.0	20.0	13.6	14.3			
	商品物件の不足	13.0	14.3	18.2	17.4	13.0	5.0	18.2	9.5			
	商品物件の高騰	21.7	9.5	31.8	34.8	30.4	20.0	22.7	28.6			
	人件費の増加	-	4.8	13.6	4.3	8.7	5.0	4.5	4.8			
	人件費以外の経費の増加	4.3	-	4.5	-	4.3	-	-	-			
	代金回収の悪化	4.3	4.8	4.5	4.3	4.3	5.0	-	4.8			
	その他	-	4.8	-	-	-	-	4.5	-			
	問題なし	21.7	28.6	22.7	13.0	26.1	35.0	40.9	38.1			
重点経営施策(%)	販路を広げる	34.8	28.6	27.3	26.1	30.4	25.0	18.2	23.8			
	経費を節減する	21.7	14.3	18.2	17.4	26.1	25.0	22.7	9.5			
	宣伝・広告を強化する	26.1	14.3	27.3	34.8	26.1	25.0	27.3	28.6			
	情報力を強化する	47.8	33.3	31.8	39.1	34.8	20.0	36.4	38.1			
	新しい事業を始める	4.3	9.5	13.6	8.7	4.3	15.0	13.6	9.5			
	提携先を見つける	8.7	-	4.5	13.0	8.7	5.0	9.1	4.8			
	機械化を推進する	-	-	4.5	8.7	-	-	-	-			
	人材を確保する	8.7	4.8	4.5	8.7	4.3	5.0	4.5	4.8			
	パート化を図る	-	-	-	-	-	-	-	-			
	教育訓練を強化する	4.3	4.8	-	-	4.3	5.0	-	-			
	労働条件を改善する	-	4.8	9.1	8.7	8.7	5.0	-	4.8			
	不動産の有効活用を図る	8.7	9.5	4.5	8.7	8.7	5.0	13.6	9.5			
	その他	-	-	-	-	-	-	-	4.8			
特になし	8.7	23.8	22.7	13.0	21.7	25.0	27.3	28.6				
有効回答事業所数	23	21	22	23	23	20	22	21				

江戸川区 産業経済部 経営支援課 調査計画係

TEL:03-5662-9014 (直通)

表紙の写真：行船公園（平成庭園・源心庵）

出典：江戸川画像文庫 (<https://photo.city.edogawa.tokyo.jp/pages/home.php>) より